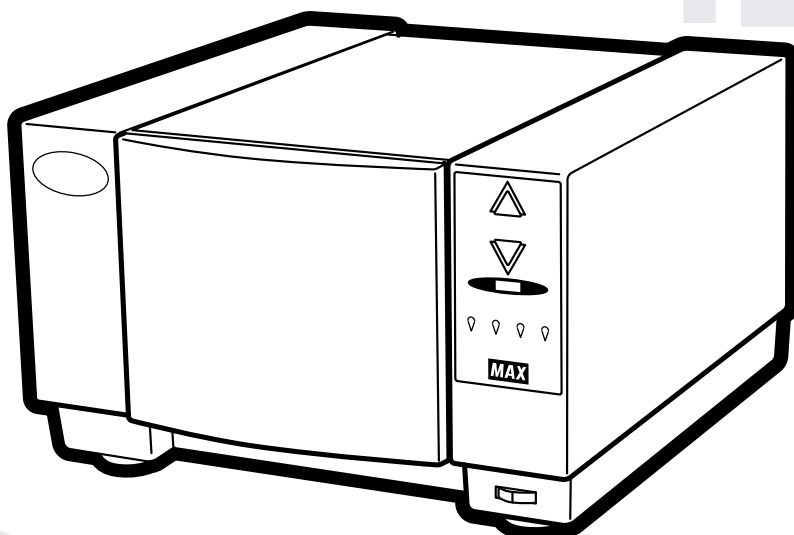


MAX®

マックス カードプリンタBP-100U

for Windows



取扱説明書

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関して、予告なしに変更することがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- このプリンタを運用した結果については、上記に関わらず責任を負いかねます。
- 本書は、パソコンのハードウェア、ソフトウェアに関する基本的な知識、用語を理解されていることを前提として説明していますので、あらかじめご了承ください。
- 紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し罰せられます。

関係法律

刑法 第148条、第149条、第162条

通貨及証券模造取締法 第1条、第2条

等

商標について

- Windows は、米国 Microsoft 社の登録商標です。
- Adobe , Acrobat , ATM , Illustrator , および PostScript は、アドビシステムズ社の商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

はじめに

このたびはカードプリンタ BP-100 をお買い上げくださいます、誠にありがとうございます。

カードプリンタ BP-100 は、独自の JRT (ジェット リリース トランスファー) 技術の採用により、市販の名刺用紙をそのまま使って美しいフルカラー写真がプリントできる、本格派名刺プリンタです。

パソコンにスキャナやデジタルカメラから取り込んだカラー画像を使って、美しいカラー名刺を作成することができます。

文字品位はART(アナログ レンダリング テクノロジー)方式でプリントし、800dpi 相当の分解能を達成しました。ご使用前に本書をよくお読みになり、本プリンタの正しい取り扱いを熟知の上、本プリンタの機能を十分にご活用ください。

ご使用上のご注意

安全上のご注意

この「取扱説明書」および「製品の表示」では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。この内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され絶対に行ってはいけないことが書いてあります。



注意


取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また作成したデータが消失する可能性があり絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

絵表示の例




「気をつけるべきこと」を意味しています（注意・警告も含む）



「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な表示内容です。例えば  は、「分解禁止」を示しています。



「しなければならないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。例えば  は、「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示しています。

マークについて

本書では、内容をより理解しやすくするために、下記のマークを適宜に使用しています。それぞれのマークは次の通りです。



必ず知っておきたい重要な事項を説明しています。安全に関わる記述もありますので、必ずお読みください。









知っておくと役に立つ知識を説明しています。



他のページを参照していただきたい場合に使用しています。該当ページや章でもう一度確認してください。

警告

	<ul style="list-style-type: none">●電源はAC100V（50Hzまたは60Hz）以外の電圧で<u>使用しないで</u>ください。火災や感電の原因になります。●電源コードを<u>傷つけたり、破損しないで</u>ください。また、重たいものを乗せたり、過熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。●濡れた手で電源コードの差し込みプラグを<u>抜き差ししないで</u>ください。感電の原因となることがあります。
 <p>差し込みプラグをコンセントから抜くこと</p>	<ul style="list-style-type: none">●万一、異常な過熱や臭いがするなどの異常な状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、その後必ず電源コードの差し込みプラグを<u>コンセントから抜いて販売店に修理を依頼</u>してください。
 <p>分解禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">●ご自分で<u>分解したり、修理または改造をしない</u>でください。故障や感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">●本プリンタの内部やインクカセットの内部にクリップやホチキスの針等を落としたり、<u>ペン、針金などの異物を差し込まない</u>でください。このような状態で使用すると故障や火災などの原因になり危険です。
 <p>差し込みプラグをコンセントから抜くこと</p>	<ul style="list-style-type: none">●次のような事態が生じた場合、ただちに電源を切り、その後電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いて当社カスタマーサポートセンターまたは販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。<ul style="list-style-type: none">・電源コードや差し込みプラグが擦り切れたり、損傷をした場合。・本プリンタ内部に液体をこぼした場合。・雨または過度の湿気の中に本プリンタをさらした場合。・本プリンタを落としたり、損傷した場合。・修理や点検が必要と考えられる場合。
 <p>水場での使用禁止</p>	<ul style="list-style-type: none">●湿度が高い場所や本プリンタに水がかかるような場所では<u>使用しないで</u>ください。火災や感電の原因となります。

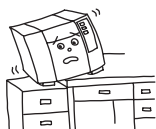


注意

	<ul style="list-style-type: none">●本プリンタの動作条件は次の通りです。<ul style="list-style-type: none">・電源電圧 : AC100V・電源周波数 : 50 / 60Hz・消費電力 : 最大 75Wこの条件に合った電源でお使いください。●コンセントから電源コードを抜くときには、必ず電源コードの差し込みプラグを持って抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none">●印刷動作中に電源を切ったり、電源コードの差し込みプラグを抜かないでください。プリントヘッドが用紙に接触したままとなり、故障の原因になります。必ず、オフライン状態にし、本プリンタの動作が停止したことを確認してから電源を切ってください。
	<ul style="list-style-type: none">●電源を切ったのち、ふたたび電源を入れるときは、すべてのランプが消えていることを確認して、4秒以上待ってから電源を入れてください。電源を切った直後に電源を入れると、本プリンタが誤動作することがあります。
<p>差し込みプラグをコンセントから抜くこと</p>	<ul style="list-style-type: none">●旅行などで長期間、本プリンタをご使用にならないときは安全のため必ず電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。●雷が近づいてきたときは、早めに電源コードの差し込みプラグをコンセントから抜いてください。
	<ul style="list-style-type: none">●本プリンタにて印刷された用紙を複写機、レーザープリンタ等の高熱を用いて処理するプリンタに使用しないでください。印刷したインクが溶けて汚れたり、機械の故障の原因となります。

お願い

機械上のトラブルをさけて本体の故障を未然に防止するため下記の事項を必ず守ってください。



- 水平で安定した場所で使用および保存してください。振動および衝撃がない場所でお使いください。破損や誤動作の原因となります。また、振動および衝撃が加えられた場合にリボンがたるんでいることがありますから動作を行う前に、インクカセットがプリンタに正しく装着されていることを必ず確認してください。



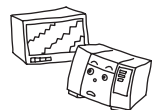
- 周囲の温度が10℃～35℃、湿度が30%～70%（結露なきこと）の範囲でお使いください。



- 直射日光が当たる場所やエアコンのそばなど温度変化が激しい場所は避けてください。また、車の中などのように温度が急に上昇するところには放置しないでください。



- ほこりが多い場所や潮風が当たるなど塩分の多い場所を避け、水や油、薬品がかからないようにしてください。



- ラジオ、テレビ等の受信機に近づけて使用しないでください。ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。このような場合には、ラジオやテレビなどから本プリンタを離したり、別のコンセントを使用してください。



- インクリボンは、温度35℃以上、湿度80%以上での保存を避けてください。また、結露のある状態では保存しないでください。また、裏返したり、巻き戻したりしても再利用はできません。再利用しても、文字が欠けてしまい、正しい印刷ができません。インクリボンは、子供の手の届かないところに保管してください。

目次

はじめに.....	3
安全上のご注意.....	4
絵表示の例.....	4
マークについて.....	4
1章 ご使用の前に.....	11
本書の使い方.....	12
オンラインマニュアルについて.....	12
製品概要.....	13
特長.....	13
付属品の確認.....	14
プリンタのセットアップ.....	15
設置場所の決定.....	15
プリンタとパソコンを接続する.....	15
電源コードを接続する.....	16
各部の名称と役割.....	17
外観.....	17
オープン状態.....	18
操作パネル.....	18
濃度調整ボリューム.....	19
斜行調整レバー.....	19
プリントヘッドを破損させないために.....	20
印刷用紙の取り扱いについて.....	20
インクカセットの保管について.....	21
アースについて.....	21

2章 プリンタの基本的な使い方 23

印刷可能な用紙について	24
印刷の手順	25
プリンタの電源を ON にする	25
インクカセットにインクリボンを装着する	26
プリンタにインクカセットを装着する	27
オンラインキーを押す	28
プリンタに用紙をセットする	28
印刷を開始する	29

3章 プリンタドライバの使い方 31

動作環境	32
プリンタドライバのインストール	33
Windows XP の場合	33
Windows 2000 の場合	35
Windows Me の場合	38
Windows 98 の場合	40
プリンタドライバの削除	44
Windows 2000/XP の場合	44
Windows 98/Me の場合	45
プリンタドライバの設定	46
印刷設定の呼び出し方 (Windows 2000/XP)	46
プリンタのプロパティの呼び出し方 (Windows 98/Me)	47
ダイアログの各部の名称と機能	48
基本設定	49
オプション	53
印刷ステータスウインドウについて	56

目次

4章 保守・手入れの仕方	57
手入れの仕方	58
汚れがついたら?	58
プリントヘッドのクリーニング	58
ローラーのクリーニング	60
5章 修理に出す前に	61
困った時には	63
エラーメッセージ	69
付録	73
消耗交換部品について	74
プリンタの仕様	75
一般使用	75
用紙サイズ	76
用語集	77
索引	83

マックス カードプリンタBP-100U



1章 ご使用の前に

1章 ご使用の前に

1章

本書の使い方

本書は本プリンタを使用して名刺を作成する上で必要な情報を説明しています。お使いになる前に必ず本書をお読みください。また、実際に本プリンタをお使いになって感じた疑問点や、もっと詳しく知りたい事項についてもわかりやすく記載されていますので、必要に応じて該当箇所をお読みください。

オンラインマニュアルについて

本書と同じ内容が、オンラインマニュアルとして、PDF形式でCD-ROMの中に収められています。

PDFファイルをパソコンで閲覧するためにはAcrobat Reader 4.0J以上が必要です。必要に応じてAcrobat ReaderをインストールしてPDFファイルを閲覧して下さい。CD-ROMの中には、Acrobat Reader 4.0Jのインストーラも収められています。

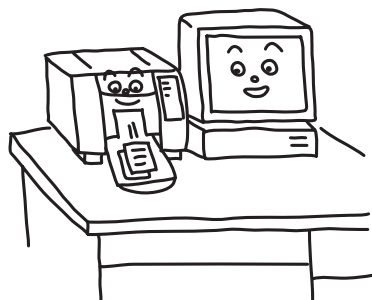
製品概要

特長

■ 市販名刺用紙そのまま使える

本プリンタはカットレスです。

100枚収容の給紙台に用紙を入れるだけでOK。
独自のJRT(ジェットリリーストランスファー)技術で印刷がテカテカしたりかすれたりしません。



■ ロゴカラーマークをプリントできる

本プリンタではロゴ専用インクリボンを使用できます。

500社以上のロゴカラーのトレンドから厳選し、消耗品として用意しました。

■ 名刺用紙に直接カラー写真がプリントできる

本プリンタはフルカラープリンタです。

独自のJRT技術により標準の名刺用紙に美しい印画ができます。



■ 電話番号等の()でもジャギーレスの文字品位

ドット径を60段階に可変するART(アナログレンダリングテクノロジー)方式でプリントすることにより文字の輪郭が補正されるため、400dpiのヘッド分解能でありながら、800dpi相当の分解能を達成しました。

お願い

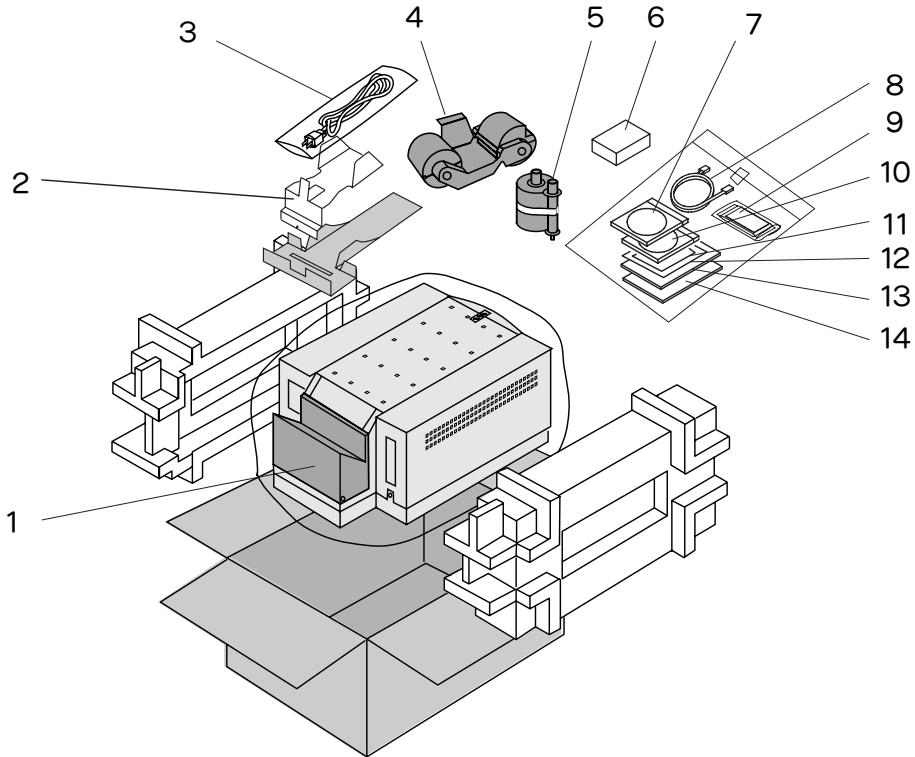
用紙の表面の状態や、紙厚によっては本プリンタの印刷に適さない用紙があります。市販の用紙を新たに選択する場合には注意が必要です。

1章 ご使用の前に

1章

付属品の確認

本プリンタには次の付属品が梱包されています。箱を開けたら、まず以下の品物がそろっているかを確認してください。もしいずれかの品物がそろっていない場合には、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



- | | |
|----------------------|-------------------------------|
| 1. プリンタ本体 | 9. クリーニングキット |
| 2. 排紙受け台 | 10. CD-ROM (専用アプリケーションソフトウェア) |
| 3. 電源コード | 11. 保証書 |
| 4. インクカセット * 1 | 12. お客様登録カード |
| 5. インクリボン (ブラック) * 1 | 13. 取扱説明書 |
| 6. 名刺カード | 14. 専用アプリケーションソフトウェア
取扱説明書 |
| 7. CD-ROM (プリンタドライバ) | |
| 8. USB ケーブル | |

*1 : プリンタ本体にセットされています。

プリンタのセットアップ

箱から取り出したプリンタは輸送中の破損防止のため保護テープで保護されています。セットアップに当たっては、まず保護テープを取り外し、次の順序で行ってください。

設置場所の決定

まず本プリンタを設置する場所の確保から始めましょう。

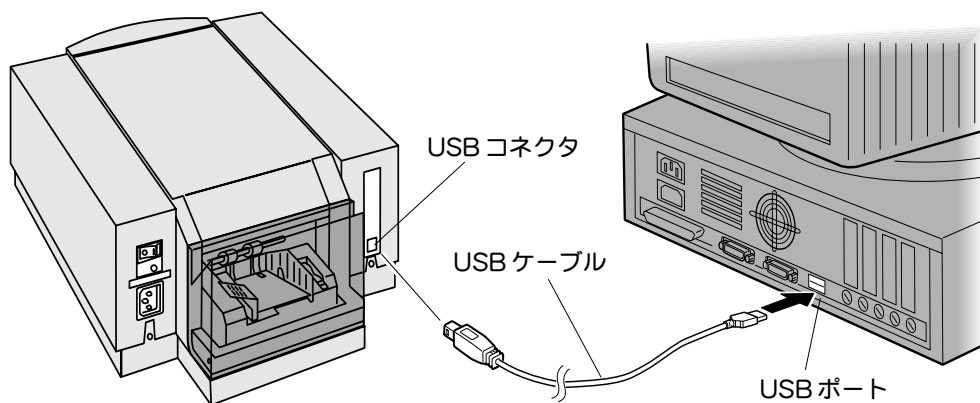
本プリンタは非常にコンパクトですが、設置するためには、最低でも346mm×270mmの空間が必要です。実際には余裕を持って550mm×350mm程度の広さが必要です。

また、本プリンタに接続するパソコン、キーボード、ディスプレイを設置することも必要ですので、そのためのスペース確保も行う必要があります。

プリンタとパソコンを接続する

Step 1 プリンタの電源がOFFであることを確認します。

Step 2 プリンタとパソコンをUSBケーブルで接続します。



お願い

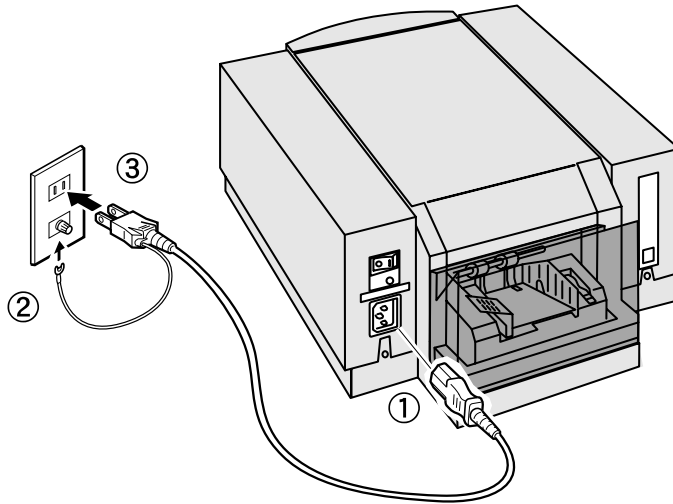
- ◆ USBケーブルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。USBハブやUSB切換器を経由した場合や、延長ケーブルを使用した場合は正しく動作しない場合があります。
- ◆ プリンタドライバをインストールする前は、プリンタの電源はOFFの状態にしておいてください。詳細は「第3章 プリンタドライバの使い方」を参照してください。

1章 ご使用の前に

1章

電源コードを接続する

- Step 1** 付属の電源コードを本体の電源コード差し込み口にしっかり差し込みます。
- Step 2** アース線をコンセントのアース端子に接続します。
- Step 3** 電源コードをコンセントに差し込みます。

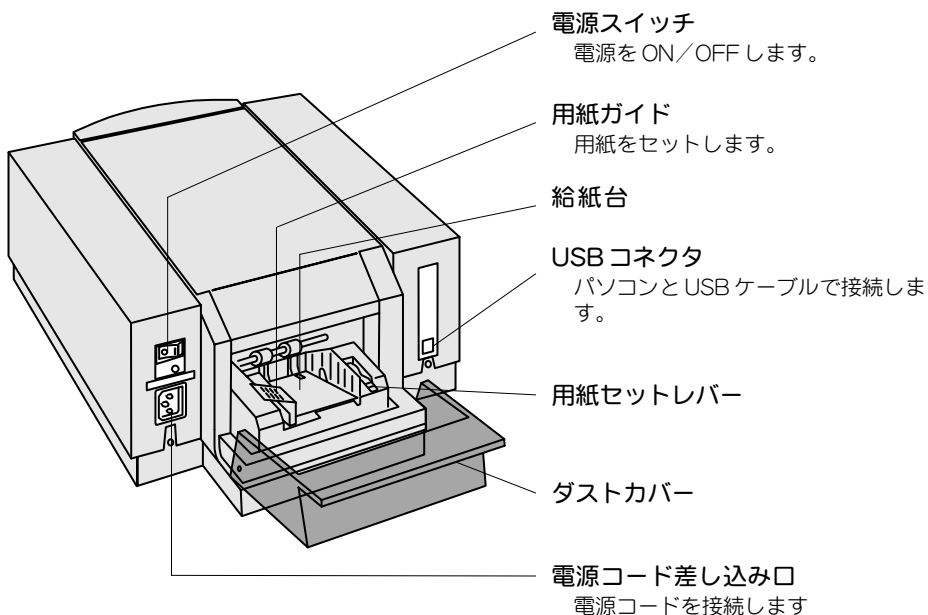
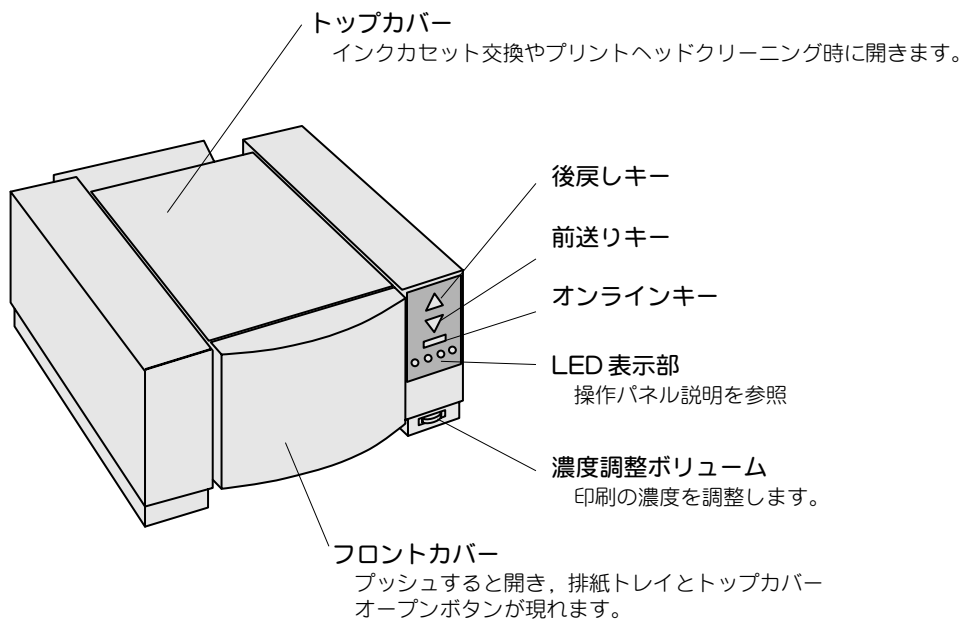


お願い

- ◆プリンタに電源コードを接続するときには、必ず上記の手順で電源コードの接続、切り離しを行ってください。
- ◆また電源コードのアース接続は、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
- ◆アース接続を外す場合は必ず電源コードをコンセントから切り離して行ってください。

各部の名称と役割

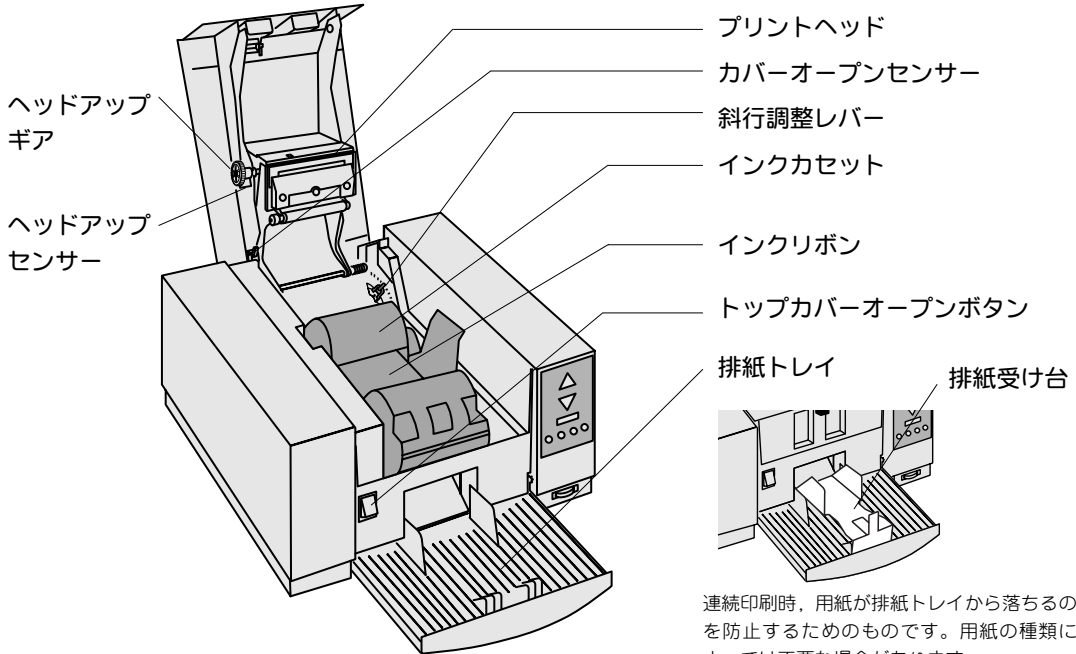
外観



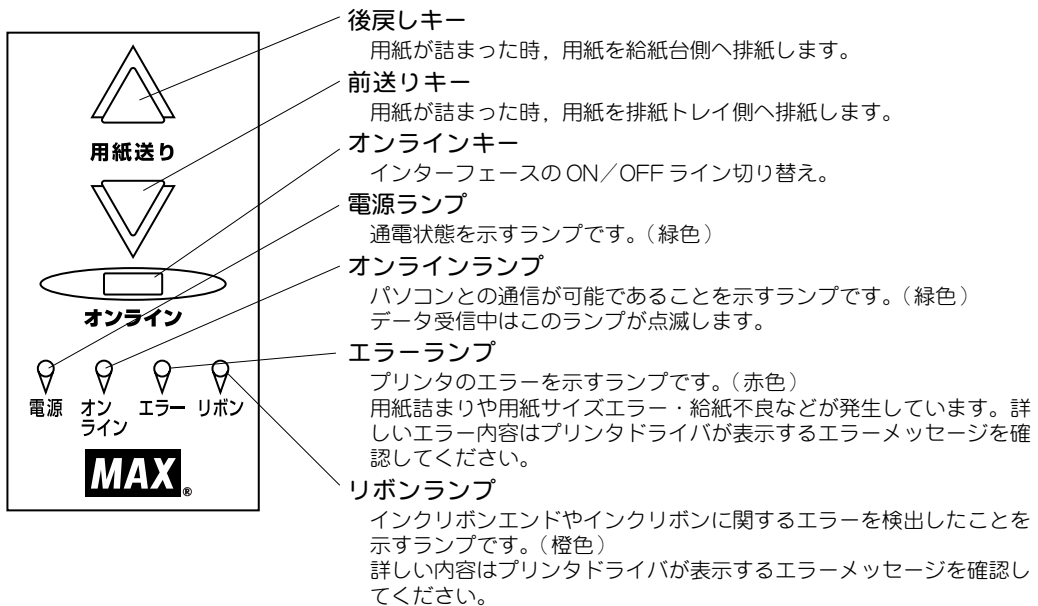
1章 ご使用の前に

1章

オープン状態



操作パネル

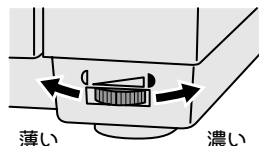


プリンタポートが双方向通信をサポートしない設定にされているとプリンタドライバでエラーメッセージを表示することはできません。

濃度調整ボリューム

印刷濃度の調整を行います。

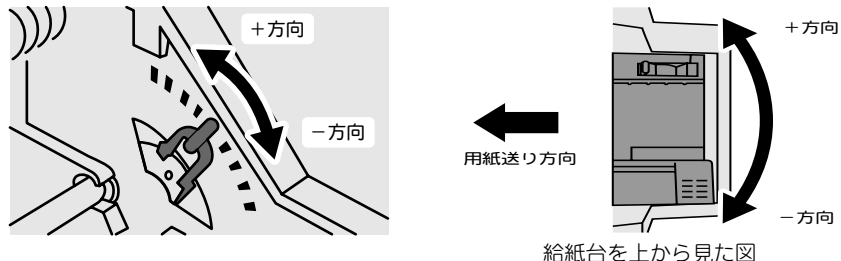
通常はセンタークリック位置で標準的な濃度が得られますが、使用環境や用紙によってはボリューム調整した方がより良い印刷が得られる場合があります。



カラーリボンやゴールドリボン使用時には、印刷が薄くなる場合があります。その際はボリュームを濃い目に調整してください。

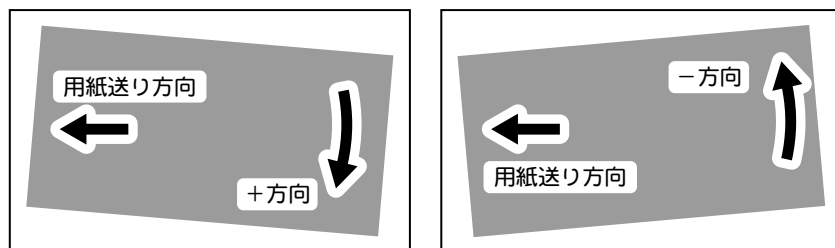
斜行調整レバー

用紙の厚さや種類が違くと、用紙に対する印刷の傾きが変わる場合があります。そのような場合、このレバーで傾きを調整することができます。下図のようにレバーを回転させると、給紙台が連動して回転し、傾きを調整します。



給紙台を上から見た図

下図は斜行調整レバーの調整方向に対応した、印刷の傾きを示しています。



斜行調整を行うと上下左右の余白のバランスが崩れることがあります。そのような場合はプリンタドライバでオフセットを調整して下さい。

お願い

斜行調整レバーは必ず溝の位置に合わせてください。溝以外のところで長期間お使いになると調整時のレバーのクリック感がなくなることがあります。

1章 ご使用の前に

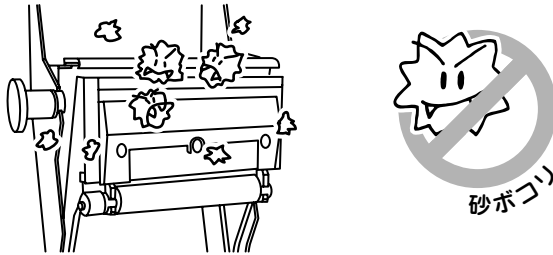
1章

プリントヘッドを破損させないために

プリントヘッドは超精密部品です。使用状況によっては、早期にプリントヘッドを破損させてしまうことがあります。

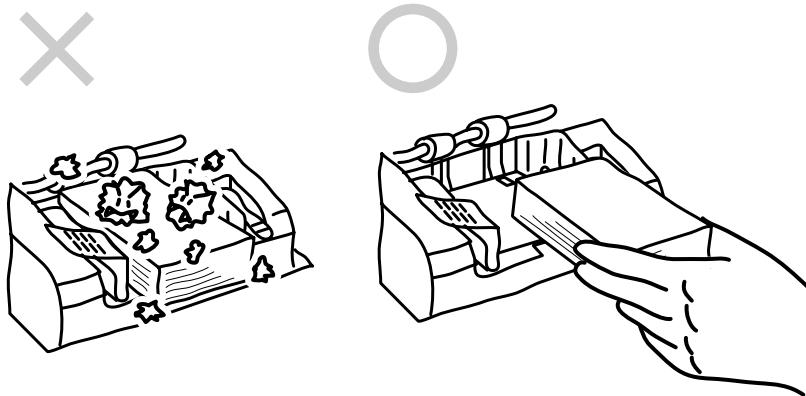
特に、砂ボコリなどがプリントヘッド破損の原因となります。

プリンタの内部をこまめに掃除していただくことに加えて、下記のお取り扱い方法にご注意願います。



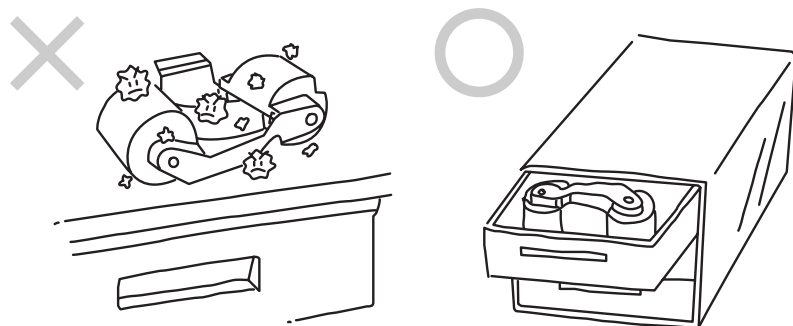
印刷用紙の取り扱いについて

- 印刷用紙は必ずケースに入れた状態で保管し、印刷する時点でプリンタにセットしてください。（ダストカバーの装着もお忘れなく）
- 印刷用紙をプリンタにセットしたまま放置しないでください。（OAカバーなどを掛けて、ホコリを防ぐことも効果的です）



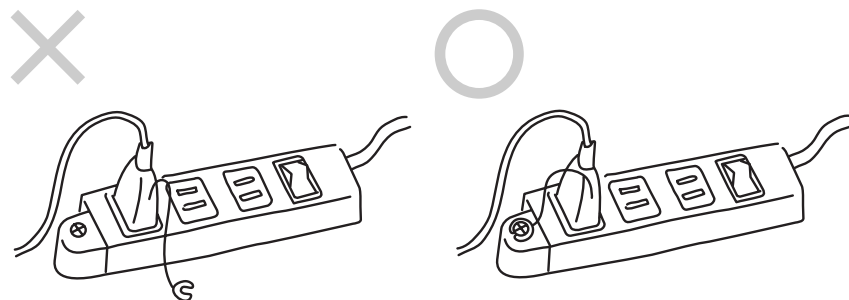
インクカセットの保管について

- インクリボンを取り付けたインクカセットは引き出しなどに保管してください。インクカセットは立てて保管し、ホコリが付着しないようにご配慮ください。
- インクカセットをプリンタにセットする前にインクリボンにホコリがついていないかご確認ください。もし、ホコリが付着していたら、ホコリを取り除き、念のため少しリボンを送りながらプリンタにセットしてください。



アースについて

- プリンタの内部に溜まる静電気が逃げるように、プリンタ本体のアースを必ず取ってください。（ホコリを吸い寄せて離さない静電気は有害です）



マックス カードプリンタBP-100U

2章 プリンタの基本的な使い方

2章 プリンタの基本的な使い方

印刷可能な用紙について

印刷に適した名刺用紙

下記の用紙は、本プリンタの推奨用紙です。本プリンタの機能を100%発揮させる消耗品です。お買い求めにつきましては、本機お買い求めの販売店、または、弊社営業担当まで気軽にお問い合わせください。

		商品名	商品記号	
1	標準紙ホワイト	BP-P101ホワイト	BP91041	上質紙ベースの標準紙
2	標準紙クリーム	BP-P151クリーム	BP91042	
3	再生紙ホワイト	BP-P201ホワイト	BP91045	再生紙70%
4	再生紙クリーム	BP-P251クリーム	BP91043	再生紙100%
5	合成紙	BP-P301ゴウセイシ	BP91044	写真印刷に適した合成紙

市販名刺用紙について

市販の名刺用紙の中には、本プリンタでの印刷に適していない用紙も市販されています。次の条件の用紙は印刷には適していません。

- 厚さ0.17mm以下もしくは0.26mm以上の用紙
厚さが0.18mm~0.25mmの範囲内であっても、極端にコシが強かったり弱かったりする場合は使えない場合があります。
- エンボス(型押)加工がしてある用紙
エンボス部分を選けて印刷できる場合があります。*
- ミラーコート加工がしてある用紙
- パウダーが多いプレ印刷した用紙
オフセット印刷等でプレ印刷した用紙は、裏写り防止用パウダーが多量に使用されていることがあります。パウダーの多い用紙を使うと、給紙不良の原因になります。

お願い

上記「市販名刺について」の条件に当てはまらない場合でも、表面の状態や添加物により印刷に適さない用紙もありますので、新規に用紙を採用される場合は、必ず試し印刷をして用紙を購入することをお勧めします。

*エンボス部を選けて印刷する場合のヒント

下図のように、用紙送り方向に対して、エンボスが後方にある場合は、印刷範囲を限定して印刷できる場合があります。デザイン上、前方にエンボスが必要な場合は、回転印刷でエンボスが後方になるように用紙をセットして印刷してください。ただし、ヘッドダウンモードでは、プリントヘッドがエンボス部を避けることができませんので印刷できません。

正常に印刷できる場合でも、エンボス自体がつぶれたり、エンボス部が汚れたりする場合がありますので、試し印刷を十分行った後に印刷可能かどうかの判断をして下さい。

エンボスがある場合は、紙送り精度や給紙性能は保証できませんのでご了承ください。

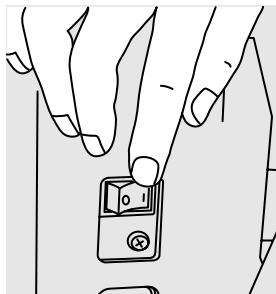
回転印刷の方法やヘッドダウンモードについては「プリンタドライバの使い方」を参照してください。



印刷の手順

プリンタの電源を ON にする

本体の電源スイッチを右側へ倒して、ONの状態にしてください。操作パネルの電源ランプが点灯するのを確認してください。



PnP(プラグ&プレイ)に対応したOSの場合、プリンタを接続して初めてパソコンを起動させた時に、プリンタドライバのインストールを要求されます。詳しくは「3章 プリンタドライバの使い方」を参照してください。

2章 プリンタの基本的な使い方

インクカセットにインクリボンを装着する

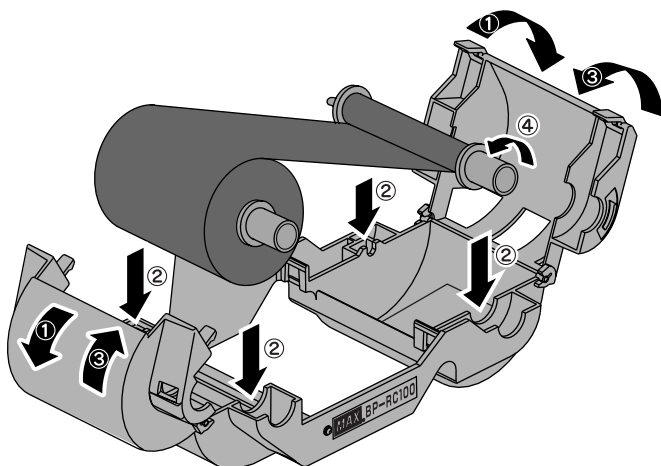
本プリンタで使用できるインクリボンはたくさんあります。顔写真等のためのフルカラー&ブラック、文字やロゴ印刷のためのカラーリボン等を正しく選択してください。プリンタには装填されているリボンの色をプリンタドライバで判別する機能はありません。

Step 1 インクカセットの両方の上蓋を開きます。

Step 2 インクリボンの取り付け方向に注意してセットします。

Step 3 インクカセットの両方の上蓋を閉じてください。

Step 4 リボンにたるみがある場合は、巻き取り側の芯を図の方向に回転させたるみをとってください。リボンにホコリが付着している場合は、ホコリが付着していない面が現れるまで巻取ってください。



お願い

インクカセットは消耗品です。インクリボン15巻がインクカセットの交換目安です。磨耗した状態で使い続けると、トラブル発生の原因になりますので、必ず交換してください。

参照

インクリボン及びインクカセットは消耗品として用意されています。詳しくは「付録」の「交換部品について」を参照してください。

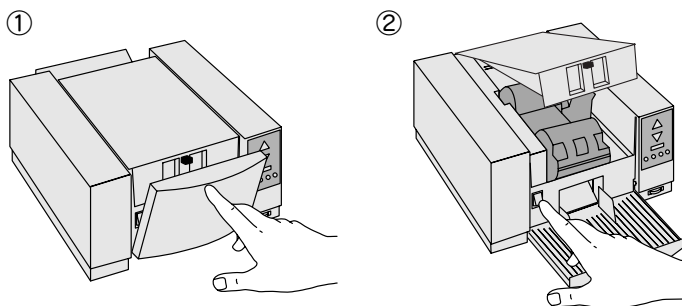
メモ

フルカラー&ブラックの場合は、リボンのイエローの面が見える状態でセットするとリボンが無駄なく使用できます。

プリンタにインクカセットを装着する

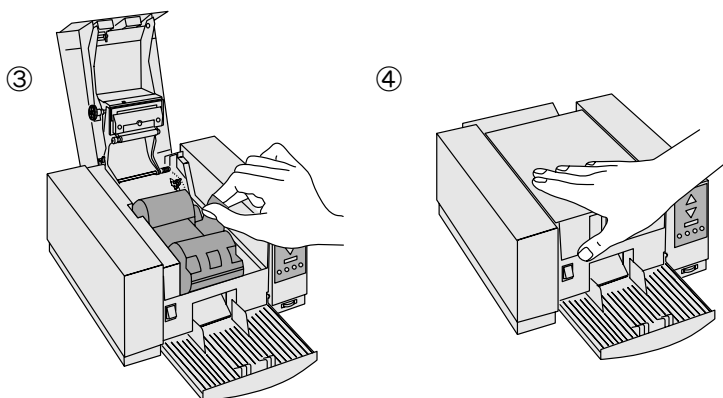
Step 1 フロントカバーをワンプッシュでオープン。

Step 2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。



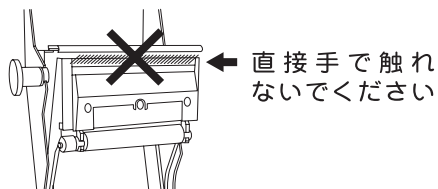
Step 3 トップカバーを完全に押し上げインクカセットをセットします。

Step 4 トップカバーを閉めます。(手をはさまないように注意してください。)



お願い

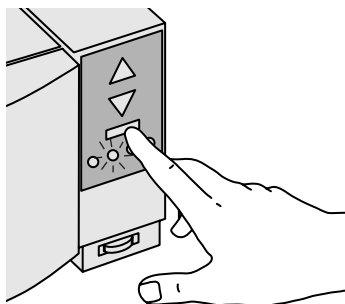
- ◆プリントヘッドは高温になる恐れがあります。直接手で触れないでください。
- ◆プリントヘッドは精密部品です、指定箇所以外は触れないでください。
- ◆人体の静電気はプリントヘッドやヘッドアップセンサー、カバーオープンセンサーの破損の原因となります。トップカバーを開けて内部を操作する場合は、必ず指を金属部分に触れて静電気を放電させてください。



2章 プリンタの基本的な使い方

オンラインキーを押す

オンラインランプ(緑色)が点灯していることを確認してください。



お願い

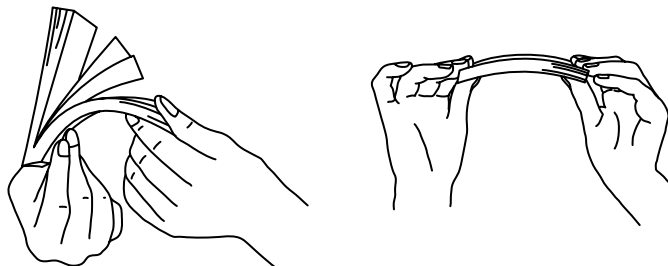
プリンタケーブルがプリンタに接続されていない状態でもオンラインランプは点灯します。オンラインランプが点灯していても印刷しない場合は、プリンタケーブルの接続をもう一度確かめてください。

プリンタに用紙をセットする

Step 1 用紙をプリンタにセットする前に、よくさばいてください。

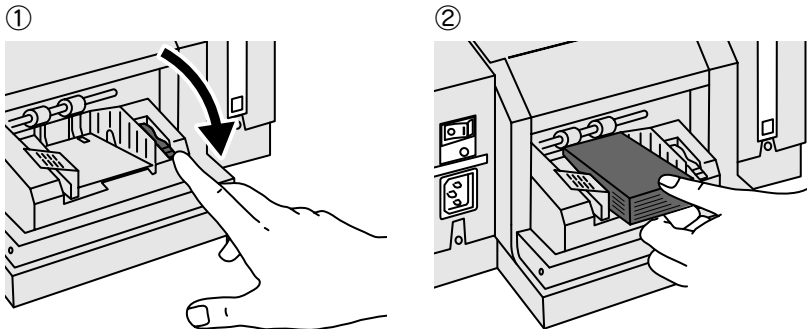
- 特に市販の合成紙は、よくさばいてください。
- しわやカールがない用紙を使用してください。カールしている場合は、逆向きに曲げてカールを直してください。このとき、用紙の表面が波状にならないように注意してください。
- 両面に印刷するときは、同様にカールを直してセットしてください。

①



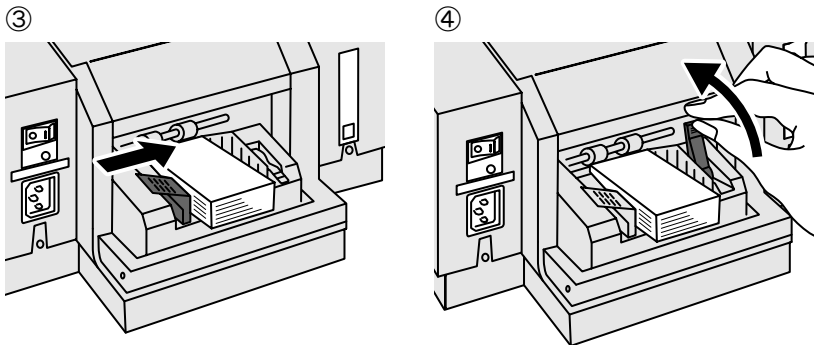
Step 2 用紙セットレバーをオープンにします。

Step 3 用紙を給紙台にセットします。(標準紙で最大100枚)



Step 4 用紙ガイドをスライドさせ用紙の幅に合わせます。

Step 5 用紙セットレバーをゆっくり閉じて完了です。



お願い

用紙セットレバーを勢よく閉めると用紙がずれて印刷位置がずれる原因になります。

印刷を開始する

本プリンタで印刷するためにはプリンタドライバ(パソコンからプリンタに印刷データを送ったりプリンタの制御を行ったりするソフトウェア)や、名刺データを作成するアプリケーションソフトウェアが必要です。

パソコンにプリンタドライバをインストールする方法や使い方に関しては「3章 プリンタドライバの使い方」を参照してください。

アプリケーションソフトウェアに関しては、お使いになるソフトウェアの取扱説明書を参照してください。アプリケーションソフトウェアの中には名刺印刷に適さないものもあります。

3章 プリントドライバの使い方

動作環境

本プリンタは下記の条件を満たす環境で動作します。

パソコン	: IBM PC - AT互換機(DOS/V機)
CPU	: Pentium 133MHz以上
OS	: Windows 98/Me/2000/XP
搭載メモリ	: 64Mbyte以上(128Mbyte推奨)
CD-ROMドライブ	: プリントドライバインストールに必要
USBポート	: USB1.1準拠のUSBポート

お願い

- ◆USBポートがあるパソコンでもWindows 95からWindows 98/Meにアップグレードしたパソコンでは、動作保証できません。
- ◆初期のUSB搭載パソコンではパソコン側のUSBコントローラチップに問題があり、正しい通信ができないものも存在します。プリンタが認識できなかったり、通信エラーが多発する場合は、まず最初に、パソコンのUSBポートに問題がないことを、お使いになっているパソコンのメーカーに確認してください。
- ◆増設したUSBポートでは動作保証できません。
- ◆USBケーブルは直接パソコンのUSBポートに接続してください。USBハブやUSB切換器を経由した場合や、延長ケーブルを使用した場合は正しく動作しない場合があります。

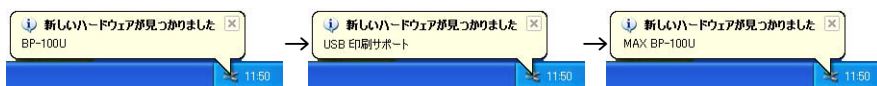
プリンタドライバのインストール

プリンタをWindowsで使えるようにするためには、BP-100U用のUSBドライバとプリンタドライバのインストールが必要です。

Windows XP の場合

プリンタドライバをインストールする場合は、必ず「コンピューターの管理者」の権限を持つユーザーアカウントでログインしてください。ユーザーアカウントに関する詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。

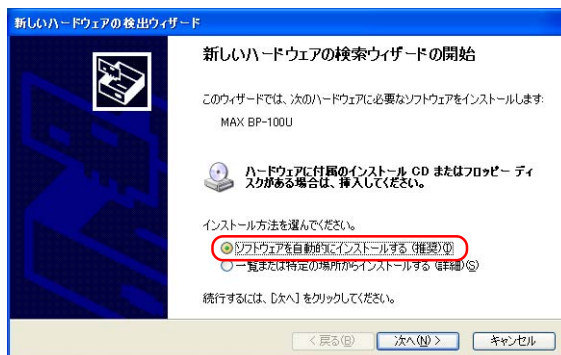
Step 1 プリンタをパソコンに接続し、プリンタの電源をONにしてください。プラグアンドプレイ機能が働き、以下のようなメッセージが現れます。メッセージが出てから、Step2のダイアログが現れるまで、時間がかかる場合がありますが、何も操作せず、そのままお待ちください。



最初の2つのメッセージはプラグアンドプレイにより、USBドライバが自動的にインストールされている時のメッセージです。

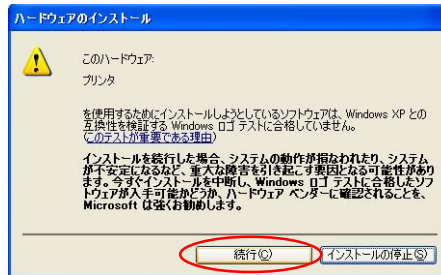
プリンタドライバがインストールされていないパソコンでも、BP-100Uが、過去に接続されたことがある場合は(例えばプリンタドライバを削除して再度インストールする場合など)、USBドライバがすでにインストールされているので、最初の2つのメッセージは現れません。

Step 2 しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が現れます。「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選択し、添付のプリンタドライバCD-ROMをドライブに挿入します。[次へ]をクリックします。(通常はCD-ROMを挿入すると自動的にインストールが開始します。自動的に開始しない場合は[次へ]ボタンをクリックしてください。)



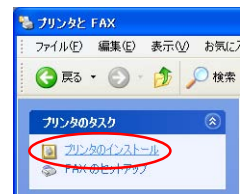
3章 プリンタドライバの使い方

Step 3 プリンタドライバが検出されると、以下のようなダイアログが現れますが、そのまま[続行]をクリックしてください。インストールが開始します。

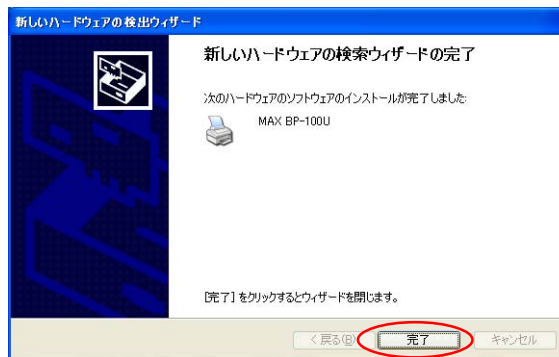


本書の説明では、「システムのプロパティ」の「ハードウェア」タブにある「ドライバの署名」の設定が初期設定の「警告」になっていることを前提に記述されています。「無視」に設定されていればこのダイアログは出ません。また、「ブロック」に設定されていれば、プリンタドライバのインストールはできません。

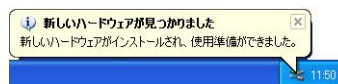
もしも、「ドライバの署名」の設定が「ブロック」に設定されていて、インストールできなかった場合は、設定を「無視」または「警告」に変更した後、「プリンタとFAX」で「プリンタのインストール」を起動してください。



Step 4 インストールが終了したら以下のようなダイアログが現れます。
[完了]をクリックしてウィザード終了してください。



Step 5 正常にインストールが終了すると、以下のようなメッセージが現れます。



Windows 2000 の場合

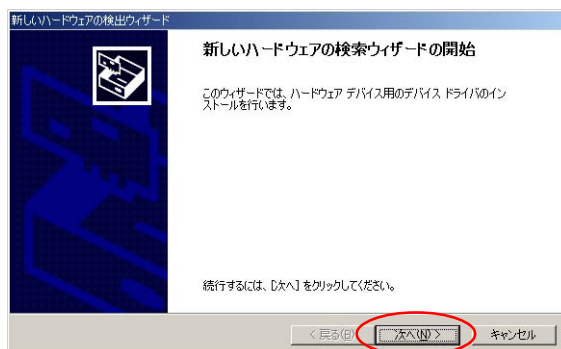
プリンタドライバをインストールする場合は、必ず「コンピューターの管理者 (Administrators)」の権限を持つユーザー名でログインしてください。ユーザー名やAdministratorsに関する詳細は、Windowsのヘルプを参照するか、コンピュータのシステム管理者にご相談ください。

Step 1 プリンタをパソコンに接続し、プリンタの電源をONにしてください。プラグアンドプレイ機能が働き、USBドライバが自動的にインストールされます。

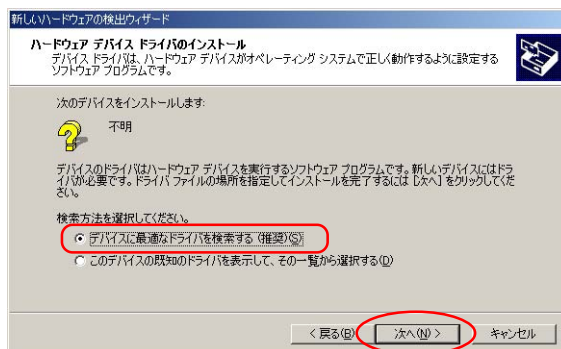


プリンタドライバがインストールされていないパソコンでも、BP-100Uが、過去に接続されてプラグアンドプレイが起動したことがある場合は(例えばプリンタドライバを削除して再度インストールする場合など)、USBドライバはすでにインストールされているので、Step2から始まります。

Step 2 しばらくすると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が現れますので [次へ] をクリックします。

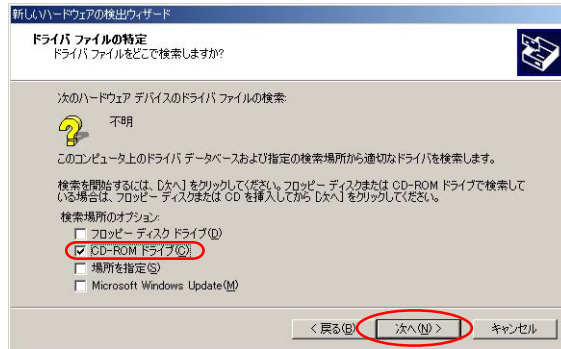


Step 3 以下のようなダイアログが現れますので、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、[次へ] をクリックしてください。

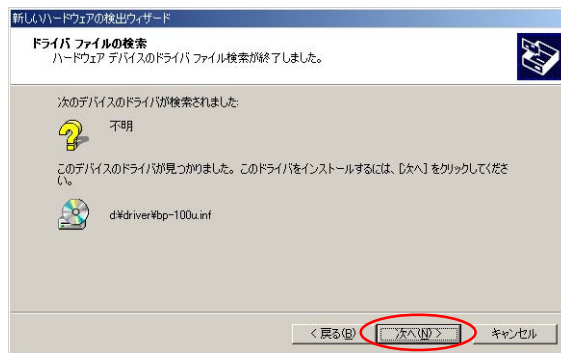


3章 プリンタドライバの使い方

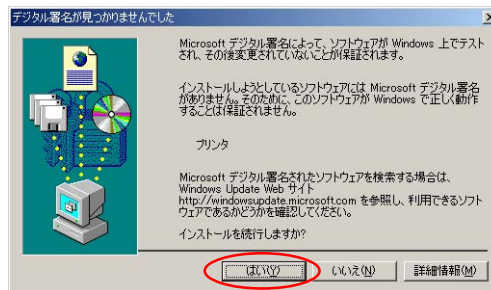
Step 4 以下のようなダイアログが現れますので、添付のプリンタドライバCD-ROMをドライブに挿入し、「CD-ROMドライブ」を選択して、[次へ]をクリックしてください。



Step 5 プリンタドライバが検出されると、以下のようなダイアログが現れますので、[次へ]をクリックしてください。



Step 6 以下のようなダイアログが現れますが、そのまま[はい]をクリックしてください。インストールが開始します。

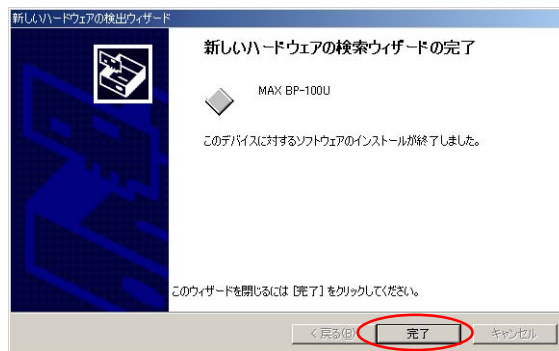




本書の説明では、「システムのプロパティ」の「ハードウェア」タブにある「ドライバの署名」の設定が初期設定の「警告」になっていることを前提に記述されています。「無視」に設定されていればこのダイアログは出ません。また、「ブロック」に設定されていれば、プリンタドライバのインストールはできません。

もしも、「ドライバの署名」の設定が「ブロック」に設定されていて、インストールできなかった場合は、設定を「無視」または「警告」に変更した後、「プリンタの追加」でプリンタドライバをインストールしてください。

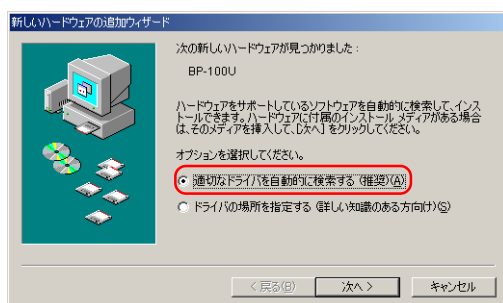
Step 7 インストールが終了したら以下のようなダイアログが現れます。
[完了]をクリックしてウィザード終了してください。



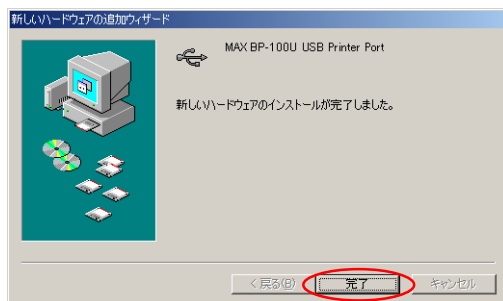
3章 プリンタドライバの使い方

Windows Me の場合

- Step 1** プリンタをパソコンに接続し、プリンタの電源をONにしてください。プラグアンドプレイ機能が働き、しばらくすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現れますので「適切なドライバを自動的に検索する」を選択して添付のプリンタドライバCD-ROMをドライブに挿入します。（通常はCD-ROMを挿入すると自動的にインストールが開始します。自動的に開始しない場合は[次へ]ボタンをクリックしてください。）

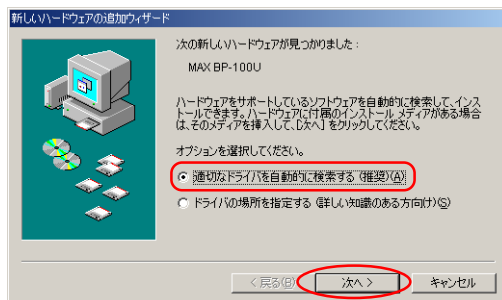


- Step 2** 以下のダイアログが現れたら[完了]をクリックしてください。ここまでが、USBドライバのインストールです。

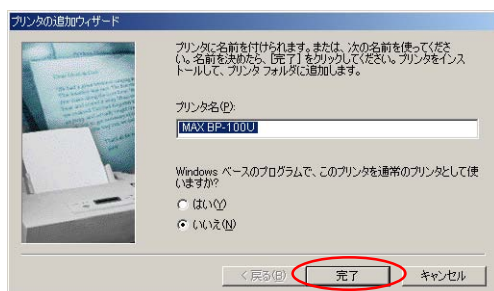


プリンタドライバがインストールされていないパソコンでも、BP-100Uが、過去に接続されて、Step2までインストールしたことがある場合は(例えばプリンタドライバを削除して再度インストールする場合など)、USBドライバはすでにインストールされているので、Step3から始まります。

- Step 3** USBドライバがインストールされると、再度プラグアンドプレイが機能が働きプリンタドライバのインストールを要求されます。「適切なドライバを自動的に検索する」を選択し、添付のプリンタドライバCD-ROMがドライブに挿入されていることを確認して、[次へ]をクリックしてください。



- Step 4** 以下のようなダイアログが現れますので、通常使うプリンタにするかしないかを決めて、[完了]をクリックしてください。



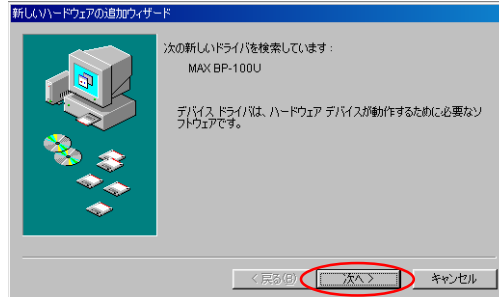
- Step 5** インストールが終了したら以下のようなダイアログが現れます。[完了]をクリックしてウィザード終了してください。



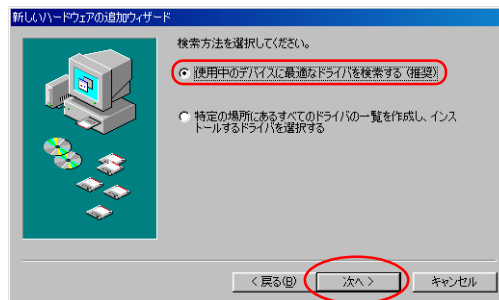
3章 プリンタドライバの使い方

Windows 98 の場合

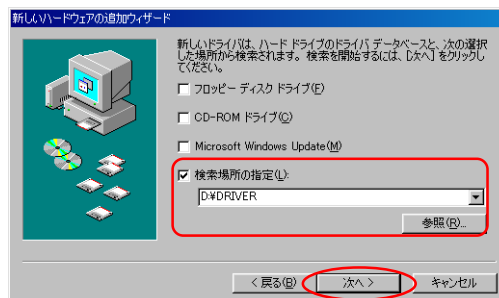
Step 1 プリンタをパソコンに接続し、プリンタの電源をONにしてください。プラグアンドプレイ機能が働き、しばらくすると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が現れますので[次へ]をクリックします。



Step 2 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択して[次へ]をクリックします。



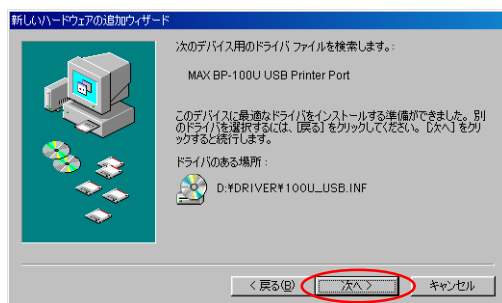
Step 3 添付のプリンタドライバCD-ROMをドライブに挿入します。「検索場所の指定」を選択し、「D:¥DRIVER」と入力し、[次へ]をクリックします。



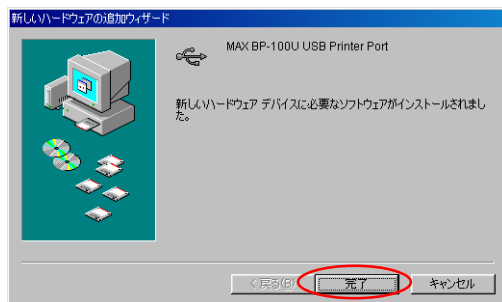


説明に使用しているパソコンのCD-ROMドライブはDドライブです。「D: ¥***」と説明しているところは、お客様のパソコンに合わせたドライブ名で入力してください。

Step 4 以下のダイアログが現れたら[次へ]をクリックしてください。



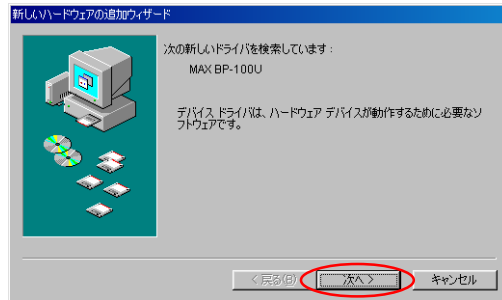
Step 5 以下のダイアログが現れたら[完了]をクリックしてください。ここまでが、USBドライバのインストールです。



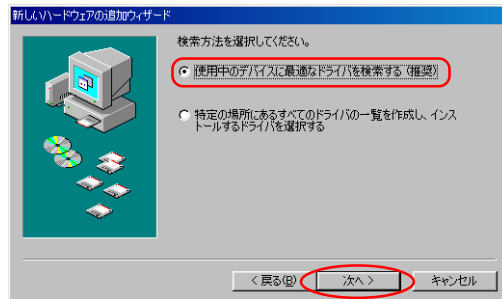
プリンタドライバがインストールされていないパソコンでも、BP-100Uが、過去に接続されて、Step5までインストールしたことがある場合は(例えばプリンタドライバを削除して再度インストールする場合など)、USBドライバはすでにインストールされているので、Step6から始まります。

3章 プリンタドライバの使い方

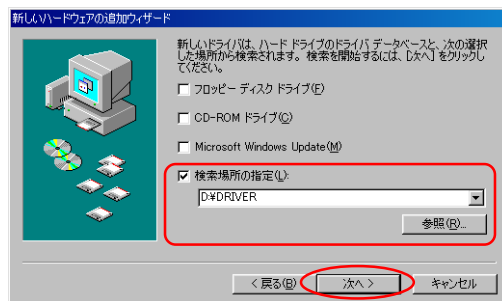
- Step 6** USBドライバがインストールされると、再度プラグアンドプレイが機能が働きプリンタドライバのインストールを要求されます。以下のようなダイアログが現れますので[次へ]をクリックしてください。



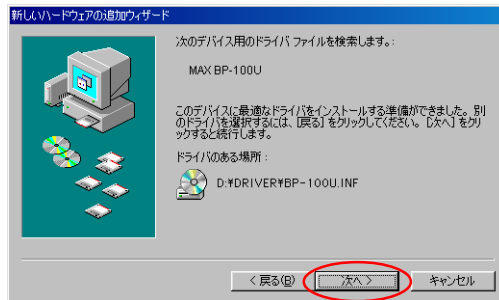
- Step 7** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、[次へ]をクリックしてください。



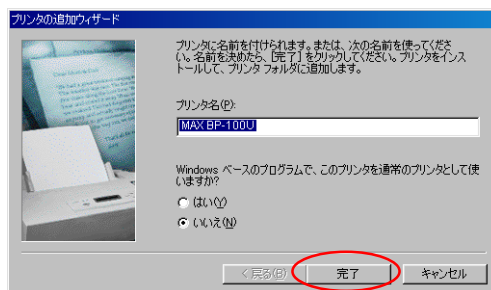
- Step 8** 添付のプリンタドライバCD-ROMがドライブに挿入されていることを確認して。「検索場所の指定」を選択し、「D:\\$DRIVER」と入力し、[次へ]をクリックします。



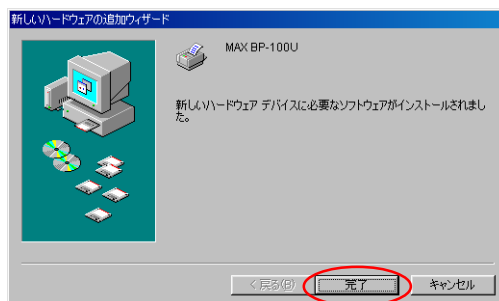
Step 9 以下のダイアログが現れたら[次へ]をクリックしてください。



Step 10 以下のようなダイアログが現れますので、通常使うプリンタにするかしないかを決めて、[完了]をクリックしてください。



Step 11 インストールが終了したら以下のようなダイアログが現れます。[完了]をクリックしてウィザード終了してください。

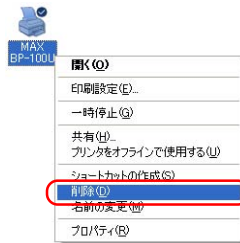


3章 プリンタドライバの使い方

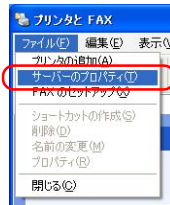
プリンタドライバの削除

Windows 2000/XP の場合

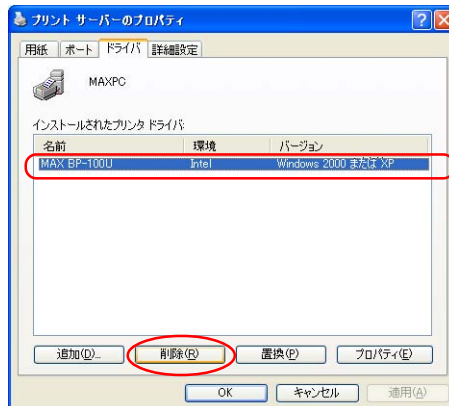
Step 1 「プリンタとFAX」(Windows 2000の場合は「プリンタ」)でプリンタアイコン「MAX BP-100U」を選択して、マウスの右ボタンをクリックして「削除」を選択します。



Step 2 「プリンタとFAX」(Windows 2000の場合は「プリンタ」)のファイルメニューからサーバーのプロパティを選択します。

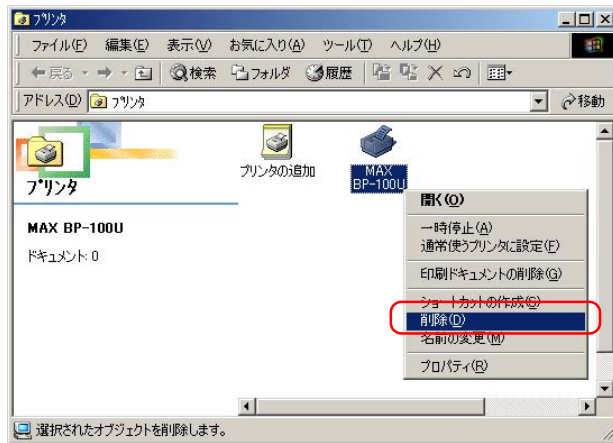


Step 3 「ドライバ」タブで「MAX BP-100U」を選択して、[削除]ボタンをクリックします。

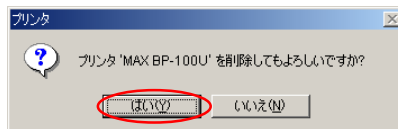


Windows 98/Me の場合

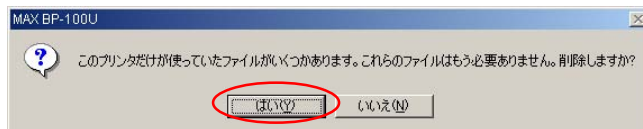
Step 1 「プリンタ」でプリンタアイコン「MAX BP-100U」を選択して、マウスの右ボタンをクリックして「削除」を選択します。



Step 2 以下のダイアログが現れますので[はい]をクリックしてください。



Step 3 以下のダイアログが現れますので[はい]をクリックしてください。



3章 プリンタドライバの使い方

プリンタドライバの設定

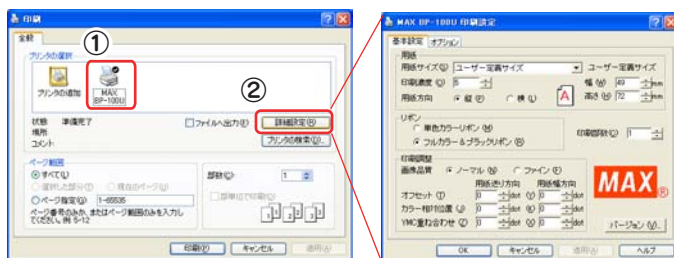
印刷を行うためには、印刷条件に合わせたプリンタドライバの設定を行う必要があります。プリンタドライバの設定は、Windows 2000/XPの場合は「印刷設定」ダイアログで設定し、Windows 98/Meの場合は「プリンタのプロパティ」で設定します。

印刷設定の呼び出し方（Windows 2000/XP）

印刷設定を呼び出す方法には、アプリケーションソフトウェアから呼び出す方法と、プリンタドライバアイコンから呼び出す方法があります。

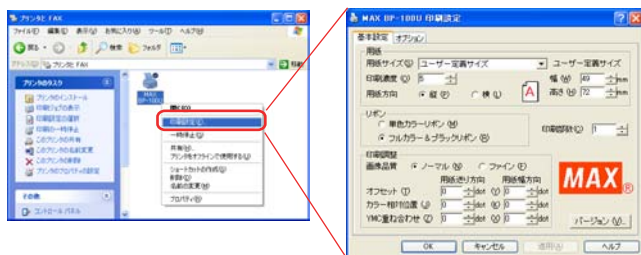
方法 1 アプリケーションソフトウェアから呼び出す方法

アプリケーションソフトウェアから印刷指示を行うと下図のようなダイアログが表示されますので「MAX BP - 100U」を選択し「詳細設定」をクリックしてください。



方法 2 プリンタドライバアイコンから呼び出す方法

コントロールパネルの「プリンタとその他のハードウェア」-「プリンタとFAX」を開き、プリンタアイコン「MAX BP - 100U」を選択して、マウスの右ボタンをクリックして「印刷設定」を選択します。



方法 1 の印刷ダイアログのレイアウトは、アプリケーションソフトウェアによって異なります。方法 2 の説明はWindows XPで説明しています。Windows 2000の場合はコントロールパネルの「プリンタ」を開いてプリンタアイコンを表示させてください。



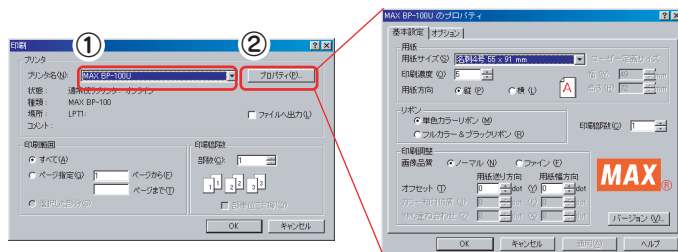
方法2で設定した内容は、アプリケーションソフトウェアから開いたときの初期値になります。普段良く使う設定は、この方法で設定しておくといいでしょう。

プリンタのプロパティの呼び出し方（Windows 98/Me）

プリンタのプロパティを呼び出す方法には、アプリケーションソフトウェアから呼び出す方法と、プリンタフォルダのプリンタドライバアイコンから呼び出す方法があります。

方法1 アプリケーションソフトウェアから呼び出す方法

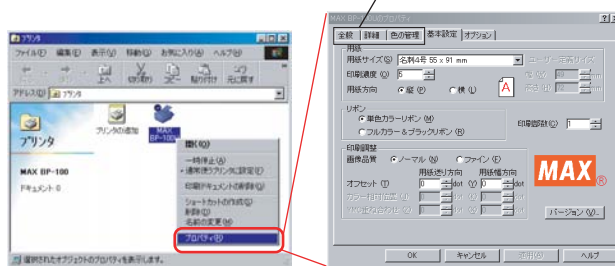
アプリケーションソフトウェアから印刷指示を行うと下図のようなダイアログが表示されますのでプリンタ名が「MAX BP-100U」になるように選択し[プロパティ]をクリックしてください。



方法2 プリンタフォルダのプリンタドライバアイコンから呼び出す方法

タスクバーの「スタート」-「設定」-「プリンタ」を開き、プリンタアイコン「MAX BP-100U」を選択して、マウスの右ボタンをクリックして「プロパティ」を選択します。

これらのタブはWindowsが出しているタブでプリンタドライバの印刷に関する設定には関係ありません。またWindowsのバージョンによって表示されるタブも異なります。



方法1の印刷ダイアログのレイアウトは、アプリケーションソフトウェアによって異なります。方法2で設定した内容は、アプリケーションソフトウェアから開いたときの初期値になります。普段良く使う設定は、この方法で設定しておくといいでしょう。

アプリケーションソフトウェアのメニューの中に「プリンタの設定」や「用紙設定」があれば、そこでプリンタのプロパティを設定できる場合があります。

3章 プリンタドライバの使い方

ダイアログの各部の名称と機能

3章

タブ

設定画面を切り替えるためのインデックスです。タブをクリックするとタイトル名に対応した設定画面が表示されます。

コンボボックス

複数の選択肢から1つを選びます。右端の▼マークをクリックするとドロップダウンリストが表示されますので設定したい項目をクリックします。

スピノボタン

上下の▼マークをクリックすることで数値を段階的にアップ/ダウンさせます。

ラジオボタン

複数項目のうち、1つだけを選択することが出来ます。

[バージョン]ボタン

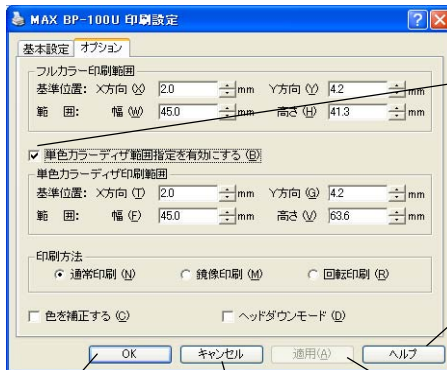
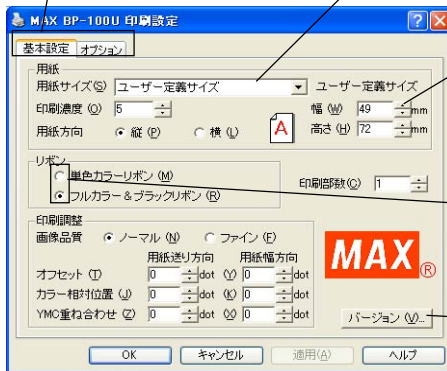
プリンタドライバに関するバージョン情報を表示します。

チェックボックス

表示されている機能をONまたはOFFにします。ボックスをクリックするとチェックマークがついたり消えたりします。

[ヘルプ]ボタン

プリンタドライバの取り扱い方法の説明を表示します。



[OK]ボタン

変更した内容を適用し、ダイアログを閉じます。

[キャンセル]ボタン

変更した内容を破棄し、ダイアログを閉じます。

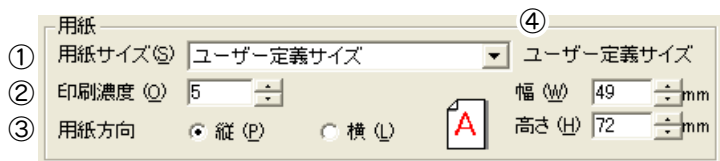
[適用]ボタン

変更内容を適用します。通常[OK]ボタンでも変更内容は適用にされますが、使っているアプリケーションソフトウェアによっては[適用]ボタンでなければ適用されない場合があります。

基本設定

「基本設定」タブでは[用紙][リボン][印刷調整][印刷部数]の設定及び[バージョン]情報の表示が出来ます。

用紙



① 用紙サイズ

印刷をする名刺のサイズを確認の上、「名刺3号(49mm×85mm)」「名刺4号(55mm×91mm)」「欧文名刺(51mm×89mm)」「ユーザー定義サイズ」の4種類から選択してください。印刷可能範囲は「付録」-「プリンタの仕様」-「用紙サイズ」を参照してください。

② 印刷濃度

印刷濃度を1(薄い)~9(濃い)の間で9段階の調整ができます。印刷濃度は使う名刺用紙の紙質によって変更するようにして、細かい濃度調整は濃度調整ボリュームで調整してください。

フルカラーの場合は1(薄い)~5(濃い)の調整範囲になります。

用紙	推奨印刷濃度
BP-P101ホワイト(標準紙ホワイト)	5
BP-P151クリーム(標準紙クリーム)	5
BP-P201ホワイト(再生紙ホワイト)	5
BP-P251クリーム(再生紙クリーム)	5
BP-P301ゴウセイシ(合成紙)	3

③ 用紙方向

用紙を縦長に使用するか、横長に使用するかを選択します。印刷するイメージと同じ向きを指定します。

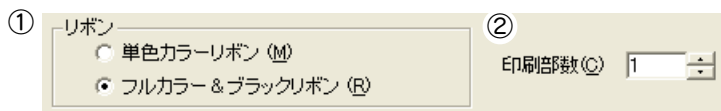
紙の短い方の端を上にして印刷することを「縦」(ポートレート)、紙の長い方の端を上にして印刷することを「横」(ランドスケープ)といいます。

④ ユーザー定義サイズ

「用紙サイズ」で「ユーザー定義サイズ」を選択した時にサイズを入力します。

3章 プリンタドライバの使い方

リボン・印刷部数



① リボン

印刷に使用するインクリボンの種類を選択します。

カラー画像を印刷する場合は、「フルカラー&ブラックリボン」を選択してください。

黒リボンまたはカラーリボンを使い単色の印刷をする場合は、「単色カラーリボン」を選択してください。

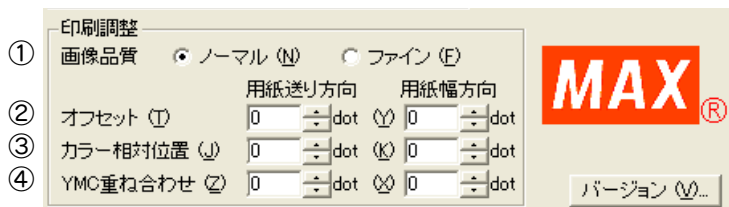
フルカラーで印刷する場合、用紙長さ方向のフルカラー印刷範囲の最大は41.3mmです。汎用アプリケーションソフトウェアから印刷する場合は「オプション」の「フルカラー印刷範囲」を設定してください。

「ユーザー定義サイズ」で用紙の高さを92mm以上の設定にした場合は、「フルカラー&ブラックリボン」で印刷することはできません。

② 印刷部数

印刷する部数を指定します。部数は1枚から1000枚まで設定できます。

印刷調整



① 画像品質

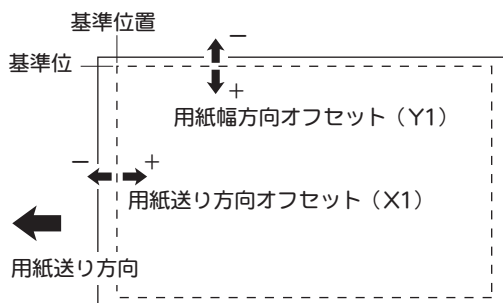
フルカラーとグレースケール画像(写真等)の印刷品質を選択します。

使用する名刺用紙と印刷する画像データの組み合わせによって画像の印刷品質が変わりますので試し刷りをおすすめします。

通常は「ノーマル」でお使いください。熱転写プリンタに適した合成紙でインクの乗りが良い場合には「ファイン」をお使いください。

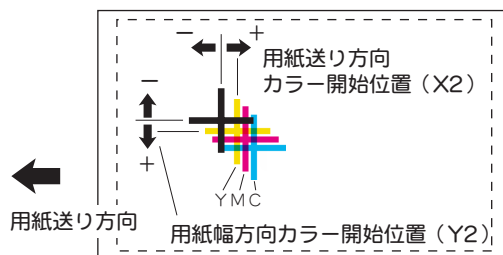
② オフセット

印刷開始位置の調整機構です。
ドット単位で調整が可能で、用紙送り方向に対する調整方向は右図の通りです。



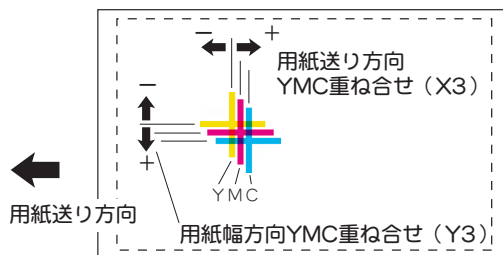
③ カラー相対位置

黒印刷に対するフルカラー印刷位置の調整機構です。黒リボンの印刷に対してYリボンの印刷位置をドット単位で相対的に調整する事ができます。用紙送り方向に対する調整方向は右図の通りです。



④ YMC重ね合わせ

フルカラー印刷の色ずれ調整機構です。Yリボンの印刷位置に対してMとCリボンのピッチをドット単位で相対的に調整する事ができます。用紙送り方向に対する調整方向は右図の通りです。



上記3つの調整範囲はお互いに影響しあうため、下記の計算式の範囲に入るように設定してください。下記計算式の範囲を超えた値を入力しても設定値は有効になりません。

$$\text{「用紙送り方向」} : X_1 + X_2 + 2 \times X_3 \leq 25$$

$$\text{「用紙幅方向」} : Y_1 + Y_2 + 2 \times Y_3 \leq 14$$

3章 プリンタドライバの使い方

バージョン

バージョンボタンを押すと、以下のダイアログが表示され、プリンタドライバのバージョンおよびプリンタファームウェアのバージョンを表示します。また、接



続されているプリンタのトータルカウンタとサービスカウンタを表示します。

①トータルカウンタ

工場出荷後に印刷されたトータルのカウント値です。

②サービスカウンタ

ユーザが任意にリセット可能なカウンタです。

③サービスカウンタリセット

このボタンをクリックするとサービスカウンタの表示が0になります。

お願い

プリンタのトータルカウンタとサービスカウンタは、印刷する内容によってカウントアップ量が変わります。フルカラーの場合は印刷枚数ではないことに注意してください。

- 単色カラー印刷： 1枚印刷でカウントアップ1
- フルカラー印刷： 1枚印刷でカウントアップ2

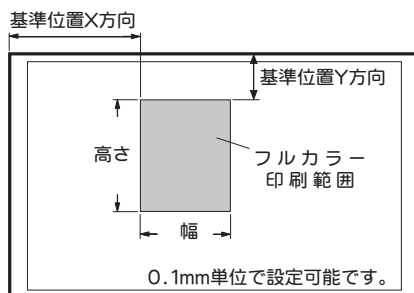
オプション

「オプション」タブでは[フルカラー印刷範囲][単色カラーディザ範囲][印刷方法][色を補正する][ヘッドダウンモード]の設定が出来ます。

フルカラー印刷範囲

フルカラー印刷範囲					
基準位置: X方向 (X)	2.0	mm	Y方向 (Y)	4.2	mm
範囲: 幅 (W)	45.0	mm	高さ (H)	41.3	mm

本機能は、汎用アプリケーションソフトウェアから印刷を行う場合に、カラー印刷を行う領域を指定する機能です。この領域から外れたカラー(RGB)データは輝度変換され、モノクロ印刷されます。「ランドスケープ」時の横長さ(「ポートレート」時は縦長さ)の最大は41.3mmです。カラー印刷範囲の「幅」「高さ」を全て「0」に設定すると、フルカラー&ブラックを用いて黒印刷のみが可能になります。



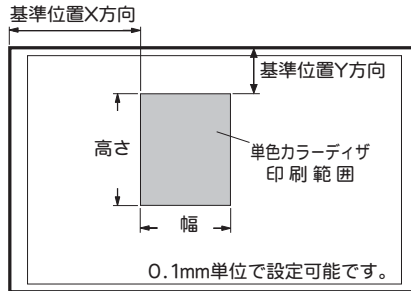
単色カラーディザ範囲

<input checked="" type="checkbox"/> 単色カラーディザ範囲指定を有効にする (B)					
単色カラーディザ印刷範囲					
基準位置: X方向 (I)	2.0	mm	Y方向 (G)	4.2	mm
範囲: 幅 (F)	45.0	mm	高さ (V)	63.6	mm

本機能は、汎用アプリケーションソフトウェアから単色カラー印刷を行う際に、ディザをかける範囲を指定する機能です。本機能は、「単色カラーディザ範囲を有効にする」のチェックボックスがONのとき有効になります。

3章 プリンタドライバの使い方

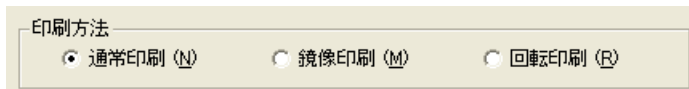
3章



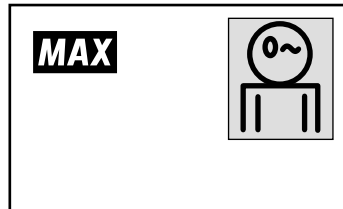
通常の白黒写真はディザをかけて印刷しますが、グレースケールのデータで、エッジにアンチエイリアスのかかった黒文字や黒のロゴなどを印刷するときには、ディザをかけずに印刷すると、輪郭が滑らかになりきれいに印刷できます。(400dpiの解像度が必要)

印刷方法

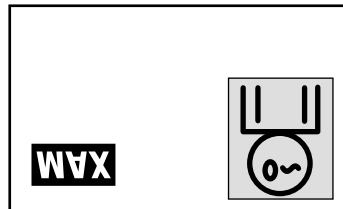
印刷する形式を通常／鏡像／回転の中から選択します。



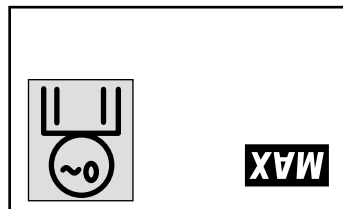
[通常印刷]



[鏡像印刷]



[回転印刷]



色を補正する

カラー印刷時の色を補正するときは、このチェックボックスを選んでONにしてください。

・色を補正しない場合

RGBのカラーデータに対して、単純にCMYのデータに変換して印刷します。この場合ディスプレイ表示のRGBと印刷のCMYは完全に補色関係になります。フルカラー&ブラックのCMYのリボンを単色で印刷する場合などに使います。

・色を補正する場合

プリンタで印刷した色とディスプレイで表示されている色を近づけるように色の補正を行います。カラー写真のデータ等を貼り付けた場合に使います。

ヘッドダウンモード

単色カラー印刷時に、このチェックボックスがONになっていると、印刷可能領域の全域で必ずヘッドダウンして動作します。コシの強い名刺用紙などで、用紙のエッジが汚れる場合、この機能で回避できる場合があります。

3章 プリントドライバの使い方

印刷ステータスウィンドウについて

プリンタドライバは印刷中のプリンタを監視・コントロールするため下図のウィンドウを画面の右下に開きます。



←1段目は印刷中のドキュメント名を示しています。2段目は印刷中のページ番号と部数を表示しています。

[停止]ボタンは複数枚の印刷を途中で止めるためのボタンです。[停止]ボタンはプリンタにデータ転送中は無効になっていて、印刷が開始されると有効になります。ただし、1枚の印刷の場合[停止]ボタンは無効になりません。

印刷途中で[停止]ボタンをクリックすると、印刷中の印刷を終了後に連続印刷が停止し、保留状態になります。その後、下図のように[停止]ボタンが無効になり[再開][全再試行][中止]のボタンが有効になります。



①再開

停止していた印刷を再開します。

②全再試行

パソコンにスプールされたデータをプリンタに転送する動作から再開します。停止してもプリンタ内のメモリは消去されないため、通常はこの機能を使うことはありません。停止中にプリンタの電源が切れるなどして、プリンタ内のメモリの内容が消えてしまった場合にこのボタンで印刷を再開することができます。

③中止

印刷を中止し、印刷ステータスウィンドウを閉じます。

マックス カードプリンタBP-100U

4章 保守・手入れの仕方

4章 保守・手入れの仕方

手入れの仕方

汚れがいたら？

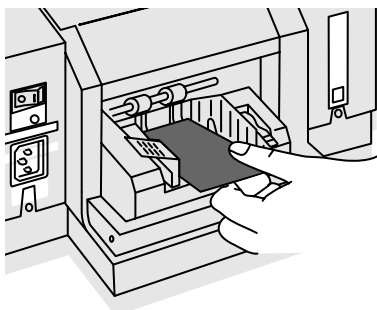


本体外装の汚れは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。汚れがひどいときには布に水か洗剤を含ませたのち、かたく絞ってから、汚れた部分を軽く拭いてください。プリントヘッドの汚れは、専用のプリントヘッドクリーナーで拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の有機溶剤や薬品、化学ぞうきんなどは、プリントヘッドの破損や印刷のよごれ(ゴミの跡)などの原因になりますので使用しないでください。また殺虫剤なども破損の原因になることがあります。

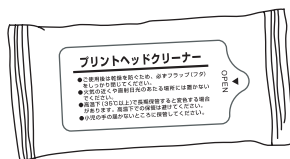
プリントヘッドのクリーニング

Step 1 クリーニングペーパーでクリーニング

名刺用紙をセットするように、クリーニングペーパーのザラザラした面を上にしてセットし、印刷します。その後、名刺用紙で印刷して、きれいに印刷されればクリーニング完了です。もし、きれいに印刷されないときは、次のステップに進んでください。



Step 2 プリントヘッドクリーナーでクリーニング

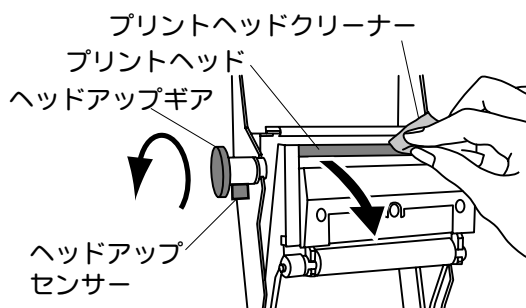


プリントヘッドをクリーニングする場合は、必ず専用のクリーナーを使うようにしてください。

最初に必ず指で金属部分に触れて、静電気を逃がしてください。
プリントヘッドの横のヘッドアップギアを図の方向に回してプリントヘッドを手前に出します。

専用のプリントヘッドクリーナーでプリントヘッドの端部（角）を強めに
ていねいに拭きます。

クリーニング後、チリなどが付着していないことを確認し、ヘッドアップギアを反時計方向に回してプリントヘッドを必ず元の位置に戻してください。



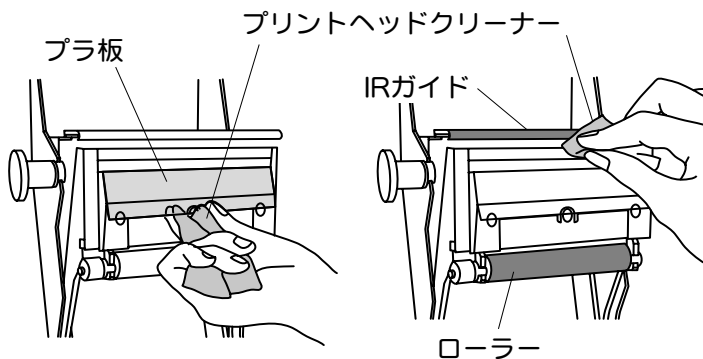
お願い

プリントヘッドは高温になる恐れがあります。直接手で触れないでください。プリントヘッドは精密部品です。指定箇所以外は触れないでください。

人体の静電気はプリントヘッドやヘッドアップセンサー、カバーセンサーの破損の原因となります。クリーニング前には必ず指を金属部分に触れて静電気を放電させてください。

Step 3 プラ板・IRガイド・ローラーのクリーニング

プラ板・IRガイド・ローラーが汚れている場合は、プリントヘッドを拭いた後のプリントヘッドクリーナーを利用して汚れを落としてください。
透明なプラ板はクリーナーではさむようにして拭いてください。

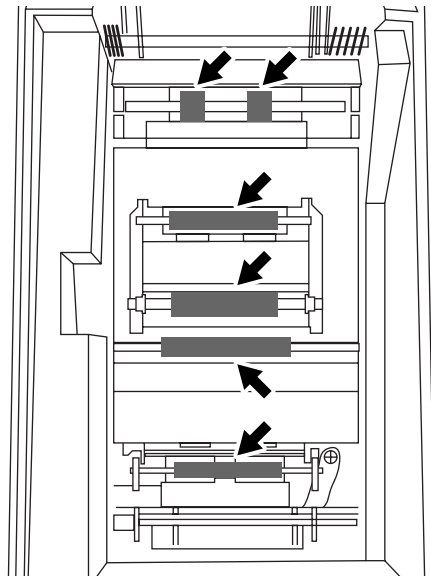


4章 保守・手入れの仕方

ローラーのクリーニング

下図に示すローラーをプリントヘッドクリーナーでクリーニングします。ローラーは回転させて全周を拭いてください。

手で回転しないローラーは、電源を入れて、前送りキーまたは後戻しキーを押して、ローラーを回転させながら拭いてください。



トップカバーを開けて上から見た図

お願い

前送りキーまたは後戻しキーでローラーを回転させて拭く場合は、プリントヘッドクリーナーがローラーに巻き込まれないように注意してください。

マックス カードプリンタBP-100U

5章 修理に出す前に

5章 修理に出す前に

本プリンタを使用中、なんらかのトラブルが発生した場合に本章をお読みください。お客様ご自身での簡単なメンテナンスによって、トラブルが解消できる場合があります。

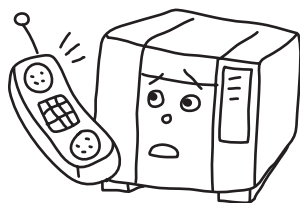
本章は下記の2部構成になっております。

「困ったときには」 : プリンタそのものや印刷結果に症状がでている場合の対処方法について解説しています。

「エラーメッセージ」 : プリンタドライバが表示するエラーメッセージに対する対処方法について解説しています。

それぞれの対処方法をよくお読みになり対処してください。対処方法にご不明の点がございましたらお買い上げ店または、お客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。また、異常の原因がわからないときなどのトラブルに際しては、巻末の「調査依頼書」をコピーし、お問い合わせ内容を明記の上、FAX等にてご連絡いただければ、担当スタッフが対応させていただきます。

また、お問い合わせ内容によっては、調査などのために回答にお時間をいただく場合がございます。ご了承ください。



〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6

マックス株式会社 お客様相談ダイヤル

フリーダイヤル ☎ 0120-510-200 FAX 03-5644-7546

受付時間 [月一金(祝祭日を除く)] 9:00～18:00

ホームページアドレス <http://www.max-ltd.co.jp/op/>

ID「ナンバーディスプレイ」を使用しています。

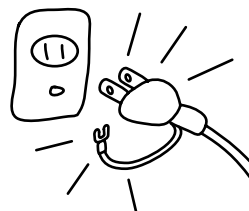
困った時には

故障？とあわてる前に次の項目をチェックしてみてください

また、正常に印刷できない原因はプリンタだけにあるとは限りません。「プリンタ」「パソコン」「ケーブル」「Windows」「プリンタドライバ」「ディスプレイドライバ」「アプリケーションソフトウェア」これらのどこがおかしいのを見極めることが問題解決の近道です。得にWindowsに関する問題は弊社だけでは解決できない問題もございますのでご了承ください。

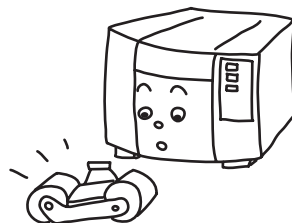
電源を入れても動作しない

- 電源コードは接続されていますか。



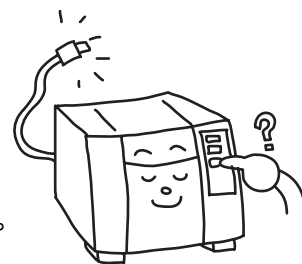
オンライン状態にならない

- インクカセットはセットされていますか。



印刷されない

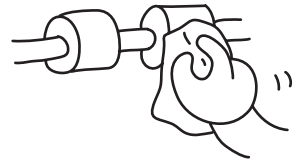
- オンライン状態になっていますか。
- USB ケーブルは接続されていますか。
- プリンタドライバは正しく選択されていますか。
- インクリボンの残量が十分あるか確認してください。
- インクカセットにリボンが逆に装着されていませんか。
- 用紙が正しくセットされているか確認してください。
- メモリ不足ではありませんか。
- フォントを必要以上にインストールしていませんか。
- 同時に起動しているアプリケーションソフトウェアは多すぎませんか。
- 他のアプリケーションソフトウェアでは正常に印刷できますか。



5章 修理に出す前に

用紙が送られない

- 給紙ローラーが紙粉等で汚れていると給紙不良を起こす可能性があります。専用のプリントヘッドクリーナーで清掃してください。
- 給紙ローラーが磨耗すると給紙不良を起こす可能性があります。ローラーが磨耗した場合には修理の手配をしてください。

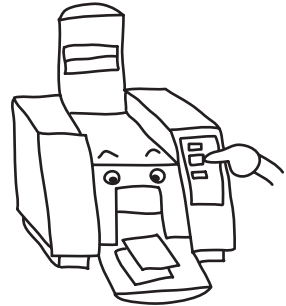


ローラーの汚れの原因は、名刺用紙に付着している紙粉、裁断時のばり残り、オフセット印刷に使用する裏写り防止用パウダー(プレ印刷用紙の場合)によるものが大半です。紙粉やパウダーが多く付着している名刺用紙をお使いの場合は、給紙ローラーの清掃をこまめに行ってください。

用紙がつまった

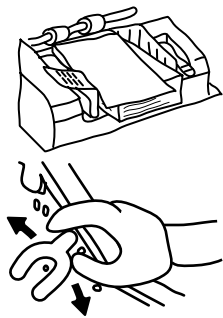
用紙がつまった場合は次の手順で用紙を取り出します。

- Step 1** トップカバーを開けて完全に押し上げます。
- Step 2** インクカセットをプリンタから外し用紙のつまっている箇所を確認します。
- Step 3** 操作パネルの前送りキーまたは後戻しキーを押して、用紙を給紙側または排紙側に動かし、つまった用紙を取り出します。
- Step 4** プリントヘッドやゴムローラーにゴミが付着していないか確認し、ゴミが付着しているときにはクリーニングを行います。
- Step 5** プリンタ内に詰まった用紙を全て取り除いたらインクカセットをプリンタ内にセットします。



印刷が斜めになったりセンターがずれたりする

- 用紙ガイドは紙の幅に合わせてセットされていますか。
- 用紙が給紙台に対して正しくセットされていますか。
- アプリケーションソフトウェア上でレイアウトがずれていませんか。
- 用紙が正しくセットされていて、データも正しい場合は「斜行調整レバー」で用紙の斜め送りを修正し、プリンタドライバの「オフセット」で印刷のセンターを調整してください。

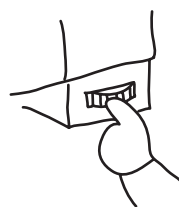
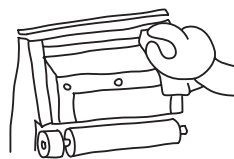


お願い

用紙の厚さや種類、印刷パターンが違くと、用紙に対する印刷の傾きやセンターが変わる場合があります。印刷条件が変わった場合は、試し印刷で傾きやセンター位置を確認してから印刷を行ってください。

文字がきれいに印刷されない

- プリントヘッドが汚れていると、きれいに印刷されません。専用のプリントヘッドクリーナーで清掃してください。
- 濃度調整ボリュームの位置を変更してみてください。(右側へ回すと濃度が濃くなります。)
- プリンタドライバ内の印刷濃度を確認してください。
- Adobe Illustrator のように、文字データを画像データに変換してからプリンタドライバに渡すアプリケーションソフトウェアではないですか。

**お願い**

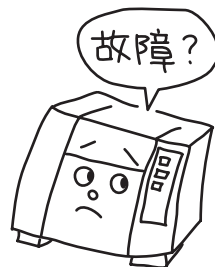
濃度設定を上げ過ぎると、逆にインクが紙に乗りにくくなる場合がありますので、印刷結果がカスしている場合でもボリューム下げた方がよい場合があります。

画像に印刷ムラが入る

- プリントヘッドが汚れている可能性があります。専用のヘッドクリーナーで清掃してください。
- 薄いグレーや淡い色のべた塗りのカラー画像の印刷では、用紙送り方向に対して垂直の方向に発生する印刷ムラが目立つ場合があります。この印刷ムラが、用紙の先頭から22mmと48mmに発生している場合は、用紙がローラーを通過する際、機械的に発生している印刷ムラです。この淡い色で発生する印刷ムラは、本プリンタの実力です。名刺デザインやレイアウトを工夫したり回転印刷を利用してこの位置になるべく画像がこないように印刷してください。

印刷の一部に帯状にかすれや白スジが出る

- プリントヘッドが汚れている可能性があります。専用のプリントヘッドクリーナーで清掃してください。プリントヘッドが汚れている場合は、用紙送り方向にかすれや白スジがでます。
- エンボス加工された用紙を使用していませんか？ エンボス加工された用紙はプリンタのヘッドが均一に用紙に当たらない為、かすれがでます。
- プリントヘッドの寿命、または故障している可能性があります。クリーニングをしても直らない場合は、修理の手配をしてください。プリントヘッドが故障していると用紙送り方向にハッキリとした白スジがでます。



5章 修理に出す前に

用紙にキズが入る

- プリントヘッドが汚れている可能性があります。専用のプリントヘッドクリーナーで清掃してください。
- 市販の合成紙の中には、表面にキズがつきやすいものがあります。このような用紙に印刷した場合、プリントヘッドの圧接した範囲に、こすりキズやテカリが発生する場合があります。プリントヘッドの清掃で改善される場合もありますが、ほとんどの場合、用紙の性質によるものですのでプリンタ側では対策できません。

細い罫線を印刷したとき線が切れる

- 0.2mm以下(3ドット幅)の細い線を印刷した場合には罫線が切れる場合があります。

印刷が途中で切れる。

- アプリケーションソフトウェア上で印刷エリア外にデータがありませんか。
- 汎用アプリケーションソフトウェアから印刷している場合、プリンタドライバで設定しているカラー印刷範囲が間違っていないですか。

紙に汚れが出る

- 裏面、ロゴ部分等プリ印刷している場合、その印刷が半乾きだと汚れが出る場合があります。プリ印刷した用紙を使う際には、印刷前に表面を擦ってみる等して完全に乾燥していることを確認してからご使用ください。

色が正確に印刷されない

- カラーリボンがセットされていますか。
- プリンタドライバの設定は正しく設定されていますか。
- プリンタドライバの「色を補正する」がOFFになっていませんか。



プリンタドライバの「色を補正する」は画像によってはOFFの場合の方が良い結果になる場合があります。

ディスプレイの発色はRGBの加色法で表現しており、減色法(CMY)である印刷では表現できない色があります。従ってディスプレイの色と完全に一致させることはできません。

市販のアプリケーションソフトウェアの中にはCMYKのデータを扱えるものがありますが、GDIプリンタではCMYKのデータを受けるとは出来ません。必ずRGBで編集してください。

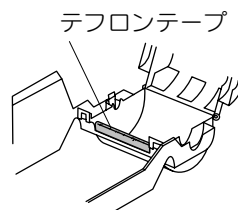
色ズレが生じる

- 折れ曲がった用紙を入れていませんか。
- プリンタドライバの「YMC重ね合わせ」の値を変更してみてください。色ズレは用紙の種類や印刷のレイアウトが大きく変わった場合に变化します。



リボン（紙）がくっついて出てくる

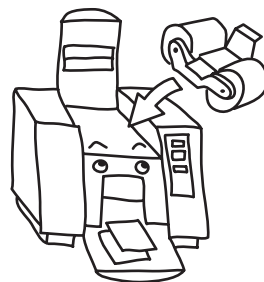
- リボンが弛んだままインクカセットが挿入されている可能性があります。
- プリントヘッドの下側に付いているローラーが汚れている可能性があります。専用のクリーナーで清掃してください。
- プリントヘッドの下側に付いているローラーが消耗している可能性があります。
- インクカセットが消耗している可能性があります。インクカセットに貼り付けているテフロンテープが磨り減っていないか確認してください。



インクリボンが絡まってしまった

インクリボンが絡まった場合は次の手順で用紙を取り出します。

- Step 1** トップカバーを開けて完全に押し上げます。
- Step 2** インクカセットを持ち上げ、インクリボンを引き上げながら操作パネルの後戻しキーを押して、インクリボンをプリンタから引き出します。
- Step 3** プリンタ内に用紙およびインクリボンが残っていないことを確認し、プリントヘッドやゴムローラーにゴミ等が付着している時は専用クリーナーで清掃を行います。
- Step 4** 飛び出したリボンを巻取ります。リボンが切れてしまった場合はセロテープなどで張り合わせて巻取ってください。
- Step 5** インクカセットをプリンタ内にセットし、トップカバーを閉じ、オンラインキーを押して完了です。



5章 修理に出す前に

何をやっても印刷しない場合

下記の手順で「印刷テスト」を行い、プリンタ単体での印刷に問題はないか確認します。

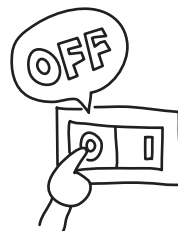
Step 1 電源スイッチを一旦OFFにします。

Step 2 USBケーブルをはずします。

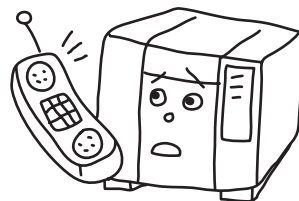
Step 3 用紙を給紙台にセットし、インクカセットがプリンタにセットされていることを確認します。

Step 4 オンラインキーを押しながら電源スイッチをONにします。

Step 5 オンラインランプが点滅し始めたら、一旦ON LINE キーを解放し、プリンタのイニシャライズが終わるまで待ちます。再度オンラインキーを押してください。正常な場合は1枚テスト印刷されます。



上記手順を行っても印刷動作しない場合には、プリンタ本体が故障していると思われるので、お買い上げいただいた販売店もしくはマックス株式会社お客様相談ダイヤルまでお問い合わせください。



エラーメッセージ

本プリンタドライバは、USB ケーブルを通じてプリンタのコンディションのチェックや印刷出力をおこないます。このとき、プリンタに何らかの異常を検知するとプリンタドライバはエラーメッセージを表示します。

以下に、そのメッセージ内容を説明します。エラーメッセージ表示中に対処を行うと続行（再試行）することができますが、*マークのエラーは続行することはできず中止確認のみ行います。

『プリンタと通信ができません』*

プリンタとの通信中にデータエラーが発生しました。プリンタに異常がないことを確認して再試行してください。

『プリンタがオフラインです』

プリンタがオフライン状態です。オンラインに切り替えてください。

『紙詰まりが発生しました』

印刷の際に紙詰まりが発生しました。カバーを開けて中の用紙を取り除いてください。

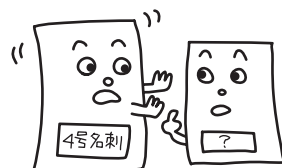
『用紙がありません』

- プリンタの給紙台に用紙がありません。用紙を補給してください。
- 一定時間内に正常に給紙出来なかったことを検出しました。次のことを確認してください。各種ローラーが汚れている。用紙厚が規定範囲を越えている。

『用紙のサイズが違います』

給紙した用紙が指定用紙サイズより小さい（短い）ことを意味します。正しい用紙をセットするか、用紙サイズを変更してください。

- 指定したサイズより短い用紙を使っていませんか？（よくある例：4号名刺サイズを指定しているが、実際には長さ90.5mmしかなかった等）
- 給紙ローラーが紙粉等で汚れていると用紙サイズエラーを起こす可能性があります。専用のプリントヘッドクリーナーで清掃してください。
- ユーザー定義サイズ”で使える用紙の大きさは縦方向49mm～55mm、長さ方向72mm～258mmです。

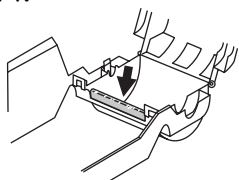


5章 修理に出す前に

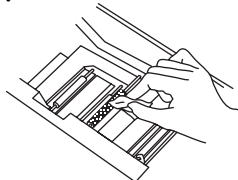
『リボンが無くなりました。リボンを交換してください』

- リボンの終わりを検出しました。新しいリボンに交換してください。
- リボンは終わりでないのに、誤ってリボンの終わりと検出した可能性があります。原因として次の3つが考えられます。
 - A. インクカセットの磨耗 : 新しいインクカセットに交換してください。
 - B. リボンローラーの汚れ : ローラーをクリーニングしてください。
 - C. 巻き取り側リボンの肥大 : リボンを交換してください。

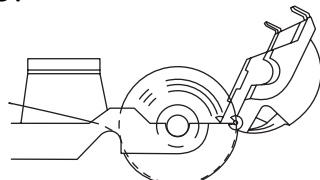
A.



B.



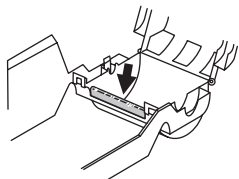
C.



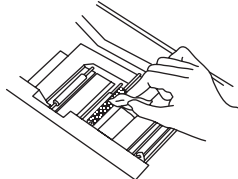
『フルカラー&ブラックリボンに交換してください』

- フルカラー&ブラックで印刷しようとしているのに、実装されているのは単色カラーリボンでした。フルカラー&ブラックに交換してください。
- カラーリボンを装填しているのに、カラーリボンを検出できなかった可能性があります。原因として次の3つが考えられます。
 - A. インクカセットの磨耗 : 新しいインクカセットに交換してください。
 - B. リボンローラーの汚れ : ローラーをクリーニングしてください。
 - C. 巻き取り側リボンの肥大 : リボンを交換してください。

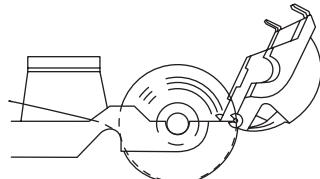
A.



B.



C.



『プリントヘッド温度が使用温度範囲外にあるため印刷が劣化する可能性があります。』

印刷中にプリントヘッドの温度が、動作を保證する温度範囲を上回りました。このまま印刷を続行すると印刷品質が劣化する可能性があります。

『プリントヘッドが異常高温（低温）のため、印刷を中止します。一旦プリンタの電源を切り、しばらく放置してヘッド温度が適温になってから印刷を再開してください』＊

印刷中にプリントヘッドの温度が、動作を保證する温度範囲を大きく上回りました。しばらく放置してプリントヘッドの温度が低くなるのを待ってから印刷を再開してください。

『プリントヘッドサーミスタがショートしています。（サービスマンコールエラー）』

プリントヘッドの温度を検出するためのセンサー（サーミスタ）の回路がショートしています。お買い上げになりました販売店、または最寄りのマックスサービス(株)へ、ご連絡ください。巻末に問合せ先がございます。

『プリントヘッドサーミスターが断線しています。（サービスマンコールエラー）』

プリントヘッドの温度を検出するためのセンサー（サーミスタ）の回路が断線しています。お買い上げになりました販売店、または最寄りのマックスサービス(株)へ、ご連絡ください。巻末に問合せ先がございます。

『サービスマンコールエラーが発生しました。印刷を中止します。』＊

プリンタで復旧不可能な状態が発生しました。お買い上げになりました販売店、または最寄りのマックスサービス(株)へ、ご連絡ください。巻末に問合せ先がございます。

マックス カードプリンタ *BP-100U*

付録

消耗交換部品について

- プリントヘッド
- 給紙ローラー
- 給紙台

上記3つの部品は、消耗交換部品となっております。ヘッド清掃を行っても印刷結果の白筋やカスレが、直らない場合及び給紙ローラーを清掃しても用紙の給紙不良が多発する場合には、販売店・指定のサービス店または当社まで交換サービス（有料）を依頼してください。

なお、インクリボンに付着した固形物（砂・ゴミ等）や、プリントヘッドに対して不用意な力を加えることは、ヘッド寿命を著しく短くすることがありますので注意してください。

インクカセットの保管には塵等の付着を避けるために保管箱に入れる等の配慮をしてください。

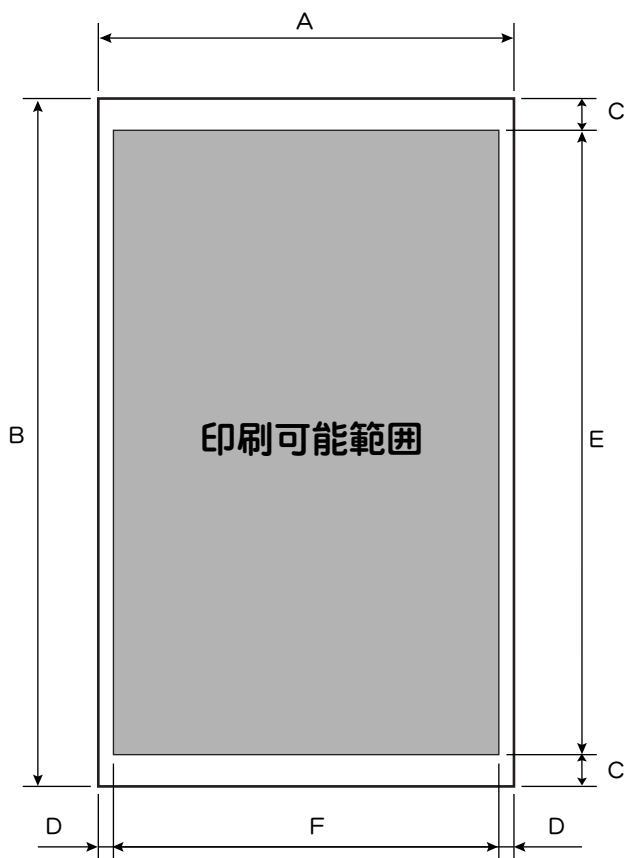
インクリボンは35℃を超えるような高温下での保管は避けてください。（閉めきった自動車の中や、直射日光の当たる場所に放置しますと、インクリボンが劣化し、プリントヘッドが汚れやすくなることがあります。）

プリンタの仕様

一般使用

外形寸法：	W270 × D346 × H159mm	
重量：	6kg	
環境条件：	印刷保証	
	温度	10 ~ 35℃
	湿度	30 ~ 70%RH (結露なきこと)
	動作保証	
	温度	5 ~ 40℃
	湿度	30 ~ 80%RH (結露なきこと)
電源：	入力電圧	90 ~ 110VAC
	定格動作周波数	50 ~ 60Hz
	入力電流	1.0A 以下
	消費電力	75W 以下
印刷方法：	熱転写方式	
プリントヘッド：	800 ドットラインサーマルヘッド	
分解能：	400 dpi	
印刷速度：	単色印刷	約 3.6 秒 / 枚
	フルカラー印刷	約 17 秒 / 枚 (カラー印刷エリア最大の場合)
	<small>(※名刺普通型 4号サイズ標準紙で連続印刷の場合 / データ転送時間を除く)</small>	
給紙方式：	トレイ方式による連続自動給紙方式	
自動給紙枚数：	最大 100 枚 (標準紙使用時)	
インクリボンの 1 本当たりの印刷枚数 (※連続印刷の場合)：		
	単色カラーリボン	2000 枚以上
	ゴールドリボン	1000 枚以上
	フルカラー & ブラックリボン	700 枚以上
インクカセットの交換時期：	インクリボン交換 15 回まで	
インターフェース規格：	USB1.1 準拠	

用紙サイズ



単位：mm

	ユーザ定義サイズ	4号名刺	3号名刺	欧文名刺
用紙幅 A	49~55	55	49	51
用紙高さ B	72~258	91	85	89
用紙幅方向最小余白 C	4.2	4.2	4.2	4.2
用紙高さ方向最小余白 D	2	2	2	2
印刷可能範囲 E	$B - 2 \times C$	82.6	76.6	80.6
印刷可能範囲 F	$A - 2 \times D$	51	45	47
用紙厚さ	0.18~0.25			

フルカラー&ブラックリボンで印刷できるフルカラー印刷範囲Eの範囲内で最大41.3mmです。
ユーザ定義サイズの用紙高さBが91mmを超える場合はフルカラー&ブラックリボンを使用することはできません。

用語集

あ

アンチエイリアス

図形や文字のエッジのギザギザを滑らかに見せる機能。例えば下図のように、白い背景に黒の文字を描くと、ドットで描くため解像度が低い場合、ギザギザに見える。しかし、黒のドットの間には適当なグレースケールのドットを配置すると、低解像度でも滑らかに見えるようになる。

本プリンタドライバではこの技術を応用しており、400dpiのプリントヘッドの解像度でありながら800dpi相当の印刷を可能にしています。



アウトラインフォント

パソコンで扱うフォント形式のひとつ。文字の形をアウトライン（輪郭）データで保持しているため、ドットフォント（ビットマップフォント）にくらべて、拡大縮小を行っても輪郭が崩れないという特徴がある。アウトラインフォントには、True Type フォント、ATM フォント、PostScript フォントなどがある。

インターフェース

ハードウェア間で（例えばパソコンとプリンタ）データをやりとりするための装置もしくは手順のこと。

エンボス

型押しのこと。次の2種類がある。

1. 用紙全体ににあらかじめ模様として型押ししたもの。
2. マークやロゴなどを型押ししたもの。

オンライン

プリンタがパソコンからデータを受信できる状態にあること。オンライン中はオンラインの緑色のLEDが点灯している。

か

解像度

イメージのきめ細かさを表す言葉。解像度が高い方がきめ細かく表現できる。ディスプレイやプリンタ、スキャナでは解像度の単位としてdpiが用いられる。

グレースケール

階調情報をもった画像の表現方式。パソコン上では、1画素あたり256階調(8bit)のグレースケール画像が一般的です。1ドット当たりの階調表現が出来ないプリンタの場合は、ディザを用い複数のドットで擬似的にグレースケールの階調表現を行います。

コーポレートカラー

本来の意味は企業イメージアップのための統一された色彩。本プリンタでは多くの企業が使用しているコーポレートカラーを分析し、使用頻度の高いカラーを厳選。インクリボンの単色カラーに設定している。

さ

市販名刺用紙

市販されている各種名刺用紙のこと。

ジャギー

アウトラインフォントなどで、本来なめらかになるところに発生するギザギザの段差。

スプーラ

印刷データを貯えて、アプリケーションソフトウェアに変わって印刷を管理し、処理速度の遅い印刷作業が終わるまで待たなくてもよくするプログラム(または機器)。

スプールファイル

スプーラによって管理されている、印刷待ちのデータファイル。

た

ディザ

ある決められた階調でより豊富な階調を表現する技法。例えば、白と黒しか使えないプリンタで、ドットの配置を工夫することにより、さまざまな濃さの灰色を表現する方法。写真のようなデータであれば有効ですが、文字のようにベタ塗りするようなデータには不要です。

は

ビットマップ

文字や図形・写真などをドット(点)の集まりとして表示・保存する方法。ドットで表現しているため、解像度が低いと綺麗な結果が得られません。

ファームウェア

機器の中に組み込まれていて、その機器を制御しているプログラム。本プリンタのファームウェアは必要に応じて、パソコンからUSBケーブルを通して書き換えできるように設計されています。

プリンタドライバ

OS上で動くアプリケーションソフトウェアからプリンタ出力を行うドライバソフトウェア。プリンタ専用のプリンタドライバをOSに組み込むことで、各種Fontやグラフィックスが印刷できるようになる。またプリンタの各種設定がソフトウェア上から可能になる。

ま

ミラーコート紙

コーティングによって、表面が光沢を持つように平らに加工した用紙。本プリンタでは印刷品質の劣化や、紙詰まり、給紙不良の原因となるのでおすすめできません。

モアレ

ドットによって発生する周期的なパターン。印刷時の欠陥でハーフトーンスクリーン(新聞の写真のように網点で構成された中間調画像)の干渉縞が見えてしまうこと。

カラー写真などを印刷物に複製する際に発生しやすい不自然なパターン模様。

ら

ラスタライズ

ベクタ画像(Draw画像)をラスタ画像(ビットマップ画像)に変換すること。ベクタ画像とは、アウトラインフォントやIllustratorで描画した図形など、輪郭を構成する点の座標データとその点をどのような曲線/直線で結ぶか、というデータから成り立っています。ラスタライズとは、それらの数値データからドットで構成されるビットマップ画像に変換することです。

ロゴ

会社名や商品名などの文字をデザインしたもの。ロゴタイプの略。

A

ART (エーアールティー)

アナログ・レンダリング・テクノロジーの略。本来2値の文字ドット再現では存在しないドットとドットの段差部に中間サイズのドットを形成する技術。

ATMフォント（エーティーエム）

Mac OS用のアウトラインフォント形式のひとつ。ATM（Adobe Type Manager）によりディスプレイ表示用に利用できるようにしたPostScriptフォントのこと。欧文フォントはプリンタ用PostScriptフォントとATMフォントは共通だが、和文フォントはATMフォントをPostScriptプリンタにダウンロードできないため、PostScriptフォントとATMフォントを明確に分けて呼ぶようにしている。ATMフォントを使うと、PostScriptフォントと同じデザインのフォントを、非PostScriptプリンタできれいに印刷することができる。Windows版のATMも存在したが、現在では、ほとんど使われていない。

B BIOS（バイオス）

Basic Input/Output Systemの略で、周辺機器とオペレーションシステム（Windowsなど）の間にある基本的な入出力を受け持つ基本ソフトウェアです。BIOSの設定を変更することで周辺機器の状態を変更することが可能です。

BMP（ビーエムピー）

グラフィックデータの保存形式の一つ。Windowsの標準画像形式。

C CMYK（シーエムワイケー）

シアン（Cyan）、マゼンタ（Magenta）、イエロー（Yellow）、ブラック（black）のこと。この4色が印刷の原色となる。フルカラー印刷は通常CMYの組み合わせによって形成される。

D dpi（ディーピーアイ）

Dots per inchの略。1インチあたりのドット数をあらわす密度の単位。

E EPS（イーピーエス）

Encapsulated PostScriptの略。「カプセル化されたPostScript」という意味で、PostScriptのデータをソフトウェア間でやり取りするためのフォーマット。ワープロソフトウェアやDTPソフトウェアでは、配置や表示内容を確認するためEPS用のヘッダテキストを付けるとともに、ディスプレイ表示専用のプレビュー画像を含めたフォーマットが使われます。

非PostScriptプリンタでEPS画像が綺麗に印刷されないのは、アプリケーションソフトウェアがプリンタドライバに対して、このディスプレイ表示用プレビュー画像を渡すためです。

I

IEEE1284 (アイトリプルイー イチニーハチヨン)

米国電気電子学会(Institute of Electronic Engineers)が定めたパラレルポートの規格。本プリンタではこの規格のECPモードで使うように設計されている。

J

JPEG (ジェイペグ)

カラー静止画像の圧縮、展開をきめる規格。また、その画像ファイル形式。

JRT (ジェイアールティー)

ジェット・リリース・トランスファーの略。インクリボンが溶融して固化する前に用紙から引き離す印刷方式で印刷がテカテカ光らず、かつカラードットの間調表現が出来る技術。

P

PDF (ピーディーエフ)

Portable Document Format の略。Adobe が提唱しているプラットフォームに依存しないドキュメントフォーマットの1つ。Adobe Acrobat Readerがあれば、ドキュメントに使われているフォントを持っていなくても、レイアウトを崩さずオリジナルに近い表示をすることが可能である。Adobe Acrobat Reader はフリーウエアとして入手可能である。本取扱説明書も PDF ファイルとして CD-ROM に収録されています。

PICT (ピクト)

グラフィックデータの保存形式の一つ。Macintosh 標準のグラフィックフォーマット。

PnP (プラグアンドプレイ)

Plug and Playの略。周辺機器を接続したときに自動的にドライバが組み込まれて使用可能になること。本プリンタもPnPに対応していますので初めてプリンタを接続してパソコンを起動させると自動的にプリンタドライバのインストールを要求されます。

PostScript フォント (ポストスクリプト)

PostScript (Adobe Systems 社が開発したページ記述言語) で定義されているアウトラインフォント。フォーマットはいくつかあるが、現在使われている PostScript フォントはほとんどが Type1 フォントで、和文 Type1 フォントは正式には Type0 として規定されていて、欧文 Type1 フォントとは異なる形式である。

Macintosh では ATM と共に使われることが多いが、Windows ではほとんど使われることがない。

R

RGB（アールジービー）

色情報を数値化したカラーモデルの一つ。レッド（Red）、グリーン（Green）、ブルー（Blue）によって色を表現する。スキャナ、ディスプレイ、デジタルカメラに使用されている。

T

TIFF（ティフ）

ペイント系グラフィックデータの保存形式の一つ。スキャナ用ソフトウェアやグラフィックソフトウェアの多くが対応し、カラー画像やグレースケール画像の保存フォーマットとして幅広く使われている。

True Type フォント（トゥルータイプ）

アウトラインフォントフォーマットのひとつ。Apple社とMicrosoft社が開発したアウトラインフォントで、WindowsやMac OSの標準フォントとして採用されている。

U

USB（ユーエスビー）

Universal Serial Bus の略。中低速デバイス向けのシリアルインターフェース規格。本プリンタはUSB1.1の規格に準拠しています。

索引

A

ART 13, 79
ATM フォント 80

B

BMP 80

C

CMYK 80

D

DPI 80

E

EPS 80

J

JPEG 81
JRT 13, 81

L

LED 17

P

PDF 12
PICT 81
PnP 25
PostScript フォント 81

R

RGB 82

T

TIFF 82
True Type フォント 82

U

USB 82
USB ポート 15

Y

YMC 重ね合わせ 51

ア

アウトラインフォント 77
後戻しキー 17, 18
アンチエイリアス 77

イ

色を補正する 55
インクカセット 14, 18, 26
インクリボン 14, 18, 26
印刷ステータスウィンドウ 56
印刷調整 50
印刷濃度 49
印刷部数 50
インターフェース 77
インターフェースコネクタ 15

エ

エラーメッセージ 69
エラーランプ 18
エンボス 24, 77

オ

お客様相談ダイヤル 62
オプション 53
オフセット 51
オフライン 77
オンラインキー 18, 28
オンラインランプ 18, 28

カ

解像度 78
回転 54
画像品質 50
カバーオープンセンサー 18
カラー相対位置 51

キ

基本設定 49
給紙台 17, 29, 74
給紙ローラー 74
鏡像 54

ク

クリーニングペーパー 58

付録

グレースケール	78	
サ		
サービスカウンタ	52	
サービスカウンタリセット		52
シ		
市販名刺用紙	78	
シャギー	78	
斜行調整レバー	18, 19	
消耗交換部品	74	
ス		
スプーラ	78	
スプールファイル	78	
ソ		
操作パネル	18	
タ		
ダストカバー	17	
単色カラーディザ範囲		53
テ		
ディザ	78	
電源コード差し込み口		17
電源スイッチ	17	
ト		
トータルカウンタ	52	
動作環境	32	
トップカバー	17, 27	
トップカバーオープンボタン		18, 27
ノ		
濃度調整ボリューム	17, 19	
ハ		
バージョン	52	
排紙受け台	14, 18	
排紙トレイ	18	
パラレルポート	15	
ヒ		
ビットマップ	78	
フ		
ファームウェア	52, 79	
プリンタケーブル	15	
プリンタドライバ	79	
プリンタのプロパティ		46
プリントヘッド	18, 74	
プリントヘッドクリーナー		58
プリントヘッドのクリーニング		58
フルカラー印刷範囲	53	
フロントカバー	17, 27	
ヘ		
ヘッドアップギア	18	
ヘッドアップセンサー		18
ヘッドダウンモード		55
マ		
前送りキー	17, 18	
ミ		
ミラーコート	24, 79	
モ		
モアレ	79	
ユ		
ユーザー定義サイズ	49	
ヨ		
用紙ガイド	17, 29	
用紙サイズ	49	
用紙セットレバー		17, 29
用紙方向	49	
ラ		
ラスタライズ	79	
リ		
リボン	50	
リボンランプ		18
ロ		
ローラーのクリーニング		60
ロゴ	79	

「カードプリンタ BP-100U」調査依頼書

FAX. 03-5644-7546
〒103-8502 東京都中央区日本橋箱崎町6-6
マックス株式会社 お客様相談ダイヤル 行き

年 月 日

お問い合わせ内容（できるだけ具体的に記入してください）

--

ご使用環境

プリンタシリアル番号					
パソコン機種名		CPUクロック	MHz	搭載メモリ	Mbyte
OS(オペレーションシステム)	1. Windows 98 2. Windows Me 3. Windows 2000 4. Windows XP				
プリンタドライババージョン	Ver.	プリンタファームウェアバージョン			
お使いのアプリケーション（バージョンも書いてください）					
その他周辺機器					

ご連絡先

住所 〒		
お（フリガナ） 名 前	電話	
	FAX	

修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください

MAX マックス株式会社

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8108(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 236-4121(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6-6	TEL (03) 3669-8141(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL (052) 935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2-10-3	TEL (019) 621-3541(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3-24	TEL (099) 269-5347(代)
新潟マックス(株)	〒955-0081	三条市東裏館2-14-28	TEL (0256) 34-2112(代)
群馬マックス(株)	〒371-0844	前橋市古市町233-5	TEL (027) 210-7755(代)
埼玉マックス(株)	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284-0001	四街道市大日1870-1	TEL (043) 422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7-6	TEL (045) 364-5661(代)
長野マックス(株)	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL (0263) 26-4377(代)
静岡マックス(株)	〒422-8036	静岡市敷地1-3-26	TEL (054) 237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921-8061	金沢市森戸2-15	TEL (076) 240-1871(代)
京滋マックス(株)	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL (075) 645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL (078) 652-7370(代)
岡山マックス(株)	〒700-0971	岡山市野田3-23-28	TEL (086) 246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761-8056	高松市上天神町761-3	TEL (087) 866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1-4-25	TEL (088) 623-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2-1-35	TEL (089) 913-0608(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6-12-8	TEL (011) 231-6487(代)
マックスサービス(株)仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL (022) 237-0778(代)
マックスサービス(株)高崎	〒370-0031	高崎市上大類町412	TEL (027) 350-7820(代)
マックスサービス(株)埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町3-421	TEL (048) 667-6448(代)
マックスサービス(株)名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-11-23	TEL (052) 935-8210(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1-3-18	TEL (06) 6446-0815(代)
マックスサービス(株)広島	〒733-0035	広島市西区南観音7-11-24	TEL (082) 291-5670(代)
マックスサービス(株)福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL (092) 451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

URL : <http://www.max-ltd.co.jp/op/>